

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
1	〔官員姓氏調〕	総目		(明治)			横半	1	
		細目 1	(徳島藩庁官員録)	(明治2年)					表紙に付箋「官員姓氏調」貼付、職員令(明治2年7月)以降のもの
		細目 2	修業生仕込方面	(明治)					沓番から拾番までの「仕込方」修行生の名前あり
2	(欠番)								
3	〔御系譜考証〕	総目		(明治)			縦	1	
		細目 1	御系譜考証	明治2年	松浦長年				「蜂須賀氏御系譜参考」記載、明治2年2月の跋文あり
		細目 2	〔第十二世謙光公御記事〕	明治45年2月29日					謙光公は10代藩主蜂須賀重喜(藩主在任:宝暦4年8月～明和6年10月)
		細目 3	(峻陵院・大龍院関係記事書付)	(明治)					峻陵院は14代藩主蜂須賀齊昌(藩主在任:文化10年9月～天保14年10月)、大龍院は15代藩主蜂須賀齊裕(藩主在任:天保14年10月～明治元年正月)、「澄水会」罫紙使用
		細目 4	(大源院関係記事書付)	(明治)					大源院は16代藩主蜂須賀茂韶(藩主在任:明治元年正月～同4年7月)、浜町賜邸・英国留学願など記載
		細目 5	(竹中半兵衛重治事績)						
		細目 6	(家祖蜂須賀正勝母系譜断簡)						綴とは別に挟み込まれた状
4	〔御系譜考証〕		茂韶公御始ヨリ御書継 公家譜稿 (蜂須賀齊裕・茂韶系譜書継)	(明治)			縦	1	「茂韶公御始ヨリ御書継 公家譜稿」「大龍院様御系末 御系譜書継稿」「従二位様御系譜書継稿」などよりなる
5	茂韶公御始ヨリ御書継 公家譜稿 〔公家譜稿〕			(明治)			縦	1	蜂須賀茂韶の年譜・兄弟・子女が記載される
6	蜂須賀家系譜						縦	1	蜂須賀正利(小六正勝の父)から9代藩主蜂須賀宗英までの系譜
7	石花録				横野富三郎		縦	1	「史記」や「甲陽軍鑑」などを引用して軍略などを記した書物、横野富三郎は儒者、天保2年正月13日家督、文久元年7月3日御役召放
8	(欠番)								
9	(欠番)								
10	阿波国産物年歴及税金高取調控			明治12年6月	保科正脩閣・原田一平編成		縦	1	「澄水会」罫紙使用、内務省から蜂須賀茂韶への依頼により、旧藩士が塩・藍・紙・苧・砂糖の来歴、役場設置の年歴、製出高などを「阿波志」を引用するなどしてまとめたもの、保科正脩は版籍奉還後に公議人、明治3年に徳島権少参事をつとめた人物
11	〔淡路国津名郡之内四拾三ヶ村浦昨午年分租税惣計〕	総目		明治4年			縦	1	
		細目 1	淡路国津名郡之内四拾三ヶ村浦昨午年分租税惣計	明治4末年	徳島藩	兵庫県			「東民政掛」罫紙使用、明治3年の稲田騒動(庚午事件)後、津名郡43ヶ村浦(3万石余)は兵庫県管轄のもと稲田氏の知行分となる
		細目 2	手懸之順序(稲田氏津名郡のうち割地ニ付問合写)	(明治)					「徳島藩」罫紙使用

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目3	(午年冬より未年春迄分井扶持方・樋瓦代米ほか書付)	(明治4年)					
		細目4	(稲田九郎兵衛旧知奉公人取扱ニ付達)	明治2巳年					「徳島藩」罨紙使用
		細目5	請取目録(租税惣計帳・戸数人員取調帳ほか)	(明治4年) 辛未7月	兵庫県 志筑出張処	徳島藩 須本出張処			「東民政掛」罨紙使用
		細目6	(短冊・詩歌ほか揮毫依頼書付)	(明治11年)					「蜂須賀」罨紙使用
		細目7	(陸軍武官定額年給表)	(明治)					「金花堂」罨紙・刷物、「士官兵卒賑恤金比較表」も記載
12	上〔伊吹喜三太上書〕(兵制改革ニ付)			(慶応4年) 2月27日	伊吹喜三太		縦	1	砲術、馬術など実用を旨とすべきことなどを建議
13	遐邇貫珍 第一号			嘉永5壬子11月～同6年11月	保定章東耘題		縦	1	「光霽書屋」罨紙使用、「英華年月歴紀並訣」「序言」「西興括論」「香港紀略」「諭言一則」「金山採金条規」「近日各報」所収
14	南京賊檄文(太平天国の乱ニ付)			(幕末)			縦	1	「香港印行新聞」所収
15	農兵年数調						縦	1	「徳島藩」罨紙使用、農兵解散により一時金を下されることから各人の勤め年数を調べたもの、惣人数276人
16	〔蜂須賀家文書〕	総目					縦	1	
		細目1	施政目的(明治2・3年頃の藩政改革ニ付願書)	(明治)	(長脩)				「徳島藩民政掛」罨紙使用
		細目2	(郡県論ニ付草稿)	(明治)					「徳島藩」罨紙使用、「廢世禄ノ算立」「資産金」「士卒給禄山高」など廢藩に関わる覚書、および政府に出仕する徳島藩士族書付所収
		細目3	(廢藩後の朝旨遵奉ニ付告諭草稿)	(明治4年)	従二位茂韶	徳島県管内士民中			「徳島藩」罨紙使用
		細目4	(小杉五郎・池辺太平の国事周旋・捕縛一件ニ付書付)	(文久3年)					「澄水会」罨紙使用、小杉五郎(相郎)は徳島藩家臣西尾志摩の家臣、池辺太平(真榛)は同樋口藤左衛門の家臣
17	錦城余光 草稿 上巻(豊臣縁故の大名華族略伝)			明治20年5月14日	常磐蔭老人(序)		縦	1	浅野・黒田・毛利・島津・細川・池田・藤堂・山内・上杉・鍋島・佐竹・伊達・南部・津軽・徳川・越前の各家を記載
18	藩風評林			(慶応)			縦	1	水戸・尾州・紀州・長州・薩州・備前・筑前・土州・因州・芸藩・藤堂・佐竹・肥前・久留米・上杉・越前・加州・肥後・彦根・会津・幕府の動向を批評したもの
19	町御奉行筆記書抜			天和～天保			縦	1	「澄水会」罨紙使用、町奉行へ御渡の判物や徳島山下廻市中への触書などを書き抜いたもの
20	〔大和一揆諸筆記〕	総目					縦	1	
		細目1	大和一揆諸筆記	文久3年癸亥8月17日					「澄水会」罨紙使用、天誅組の決起に関する史料のほか「土州内乱書」(吉田東洋暗殺)、「仏蘭西人江返書」(第二次東禅寺事件警衛向嚴重ニ付)も記載

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目2	(名東県下徴兵・学校反対騒動ニ付届書写)	明治6年7月	名東県参事久保断三・名東県権令林茂平	大蔵省事務総裁参議大隈重信			「澄水会」罨紙使用、「陸軍卿へ従高松管所御届写」とも
		細目3	(藩政関係布達書付写)	嘉永6年～慶応4年					海防、鑄銭、神仏分離ほか
21	[年中行事]			天保7年丙申8月			縦	1	「年中行事」「御席附之事并官位之事」「出火一件」「天下御一統以後滅亡之大名大概」が記載される
22	献策(徳川斉昭建白・書翰写)						縦	1	天保9年8月朔日付戊戌封事ほか9点が筆写される、奥書に「文久元辛暮春 閑職 小野崎中和 佐藤正雄 右摹写之者也」とあり、小野崎・佐藤は小仏閑所番
23	蜂須賀家三代創業文武有功士小履歴						縦	1	版本
24	聞取之ころへ	総目					縦	1	
		細目1	聞取適ころへ(第2次長州戦争風聞)	(慶応2年)					
		細目2	(国体確立ニ付意見案)	(明治初年)					
		細目3	(大政奉還後の方針ニ付上書)	(慶応3年)10月21日	御名留守居 渡瀬浪江・合田左源次・寺西金右衛門				
		細目4	(聖廟廃止其外ニ付建議)	明治己巳(2年)3月・9月					付札あり
25	御政事方御用手扣			安永9子年	長江		縦	1	長江作兵衛貞寿(250石、奥御小性役・御作事奉行)の手控か
26	熊藩制度(肥後藩衣類御制度・重賢公御書付)						縦	1	
27	[陳情書]	総目					縦	1	
		細目1	謹上(長州藩主父子救済ニ付)	(慶応元年)12月	長防士民中	松平阿波守様御家老中様			
		細目2	(稲田九郎兵衛旧領地兵庫県管轄被仰出ニ付書付)	(明治4年)辛未6月	東民政掛				「徳島藩」罨紙使用
		細目3	阿淡両国陸軍出身者人員一覧表	(明治)					「蜂須賀」罨紙使用、冊からはずれた状態
		細目4	身元引受証(多賀谷春貴館御乳母奉公ニ付)	明治30年11月	東京市本所区新小梅町壹番地身元引受証人川辺善固(印)	蜂須賀家 御家扶御中			多賀谷春は水戸市東茨城郡出身

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
28	勢						縦	1	勢・断・劣について論じたもの、一丁目に和歌あり「袋表 ふかせりのおもひ深めし一葉とはみをつみてしる人もありなん 保臣」
29	〔副約証書〕（稲田家山林売買二付）	総目					縦	1	
		細目 1	副約証書	明治24年12月14日	尾形長栄・奥坂芳幹・木村三郎	小笠原兵太郎殿			「別途約定証」あり
		細目 2	誓約書	明治24年12月11日	尾形長栄ほか9名				
		細目 3	売買契約書	明治24年12月14日	売主 小笠原兵太郎 買主 尾方長栄ほか2名				
		細目 4	誓書（元稲田家所有山林買受二付）	明治24年12月8日	尾方長栄ほか9名	松島正義殿	状		封筒とも、冊に貼付の封筒にはいったもの
		細目 5	（稲田家家政再興二付書簡）	明治25年5月18日	尾方長栄ほか6名	藤木文策殿	状		封筒とも、冊に貼付の封筒にはいったもの
		細目 6	哀願書（稲田家家政再興二付）	明治25年5月18日	松尾四方ほか6名	蜂須賀二位（茂韶）殿	状		封筒とも、冊に貼付の封筒にはいったもの
		細目 7	（稲田家家政再興二付書簡）	（明治25年）5月31日	岸本依信	藤木文策殿	状		封筒とも、冊に貼付の封筒にはいったもの
30	〔大龍公御実紀〕	総目					縦	1	
		細目 1	大龍公御実紀	天保14年	森重遠纂輯				「澄水会」罫紙使用、大龍公は14代斉裕、天保8～14年までの記事あり、斉裕が鍛冶橋にある徳島藩邸に引移った際の挿話などあり
		細目 2	（御家記草案）	（弘化3～明治5年）					「澄水会」罫紙使用
31	大龍公御実紀附録			天保12年	森重遠纂輯		縦	1	「澄水会」罫紙使用
32	献策下書			安政4～5年	竹澤寛三郎（新田邦光）		縦	1	第三編～第六編の四冊を綴ったもの、第五編の裏表紙に付箋あり「此三冊ハ新田氏持参之書物也 小杉君御承知」、竹澤寛三郎（新田邦光：文政12年～明治35年）は阿波国美馬郡出身、弘化・嘉永期に西国を遊歴し神道護国論を主張した神道家、「神風秘策」「回天策」などの著作がある、慶応4年に飛騨高山代官所を接収し初代高山県知事となる、維新後、有栖川宮邸に神道修成派の本部を設ける
33	〔稲田九郎兵衛願書〕	総目					縦	1	
		細目 1	乍恐再応奉歎願覚（旧領管轄替二付）	（明治4年）辛未6月9日	29ヶ村浦 惣代 伯屋浦庄屋 植野六郎ほか1名	東民政御役所様			「徳島藩」罫紙使用
		細目 2	（旧領管轄替歎願二付書状）	（明治4年）6月11日	島田准史生	久保田権少属様			別紙あり、「東民政掛」罫紙使用
		細目 3	（稲田先規奉公人取扱方二付書付）	（明治）					「徳島藩」罫紙使用

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 4	(地所配分其外ニ付書簡)	(明治) 2月 28日	原田権少属・三 澤史生	庄野権大属殿・ 東村権少属殿			「西民政掛」罫紙使用
		細目 5	兵庫県管轄津名郡四拾三ヶ村昨 午年収納物一部	(明治 4年)					「東民政掛」罫紙使用、別紙として兵庫県管轄郡付卒・村付卒の書付 あり
		細目 6	岩屋浦住士族卒并農兵共且同所 近傍住卒農兵共名面	(明治 4年)					「徳島藩」罫紙使用
		細目 7	(当藩内年貢取立方・軍役銭申 付其外ニ付書付)	(明治 4年)					「東民政掛」罫紙使用
		細目 8	(兵庫県へ引渡候土地ニ付書 付)	(明治)					「叡芥藏」罫紙使用
		細目 9	岩屋浦台場備付大砲員数	(明治)					「徳島藩」罫紙使用
		細目 10	(志筑池ノ内村他入相地書付 覚)	(明治)					「東民政掛」罫紙使用
34	[旧藩建白類]	総目					縦	1	
		細目 1	(時事ニ関スル建議書抜萃写)	文久 2年壬戌 6月朔日	(蜂須賀斉裕)				罫紙使用
		細目 2	(将軍上洛延引・王室取扱他ニ 付建白書写)	戊(文久 2 年) 5月	松平阿波守(蜂 須賀斉裕)				郡県制に関する蜂須賀茂韶の建白書写とも、「澄水会」罫紙使用
		細目 3	(長防処置其外ニ付建白書)	(慶応 2年)	林栄次郎外 20 名				9月と10月のものがある。林栄次郎(厚徳)は奥小姓役
		細目 4	上(藩政改革ニ付)	(明治元年) 辰 1 1月	武谷薊				
		細目 5	上(富国強兵其外ニ付)	(明治 4年) 辛未 2月	岡田真太郎				岡田真太郎(惟恭)は儒者・文学教授
35	[藩制改革之議]	総目					縦	1	
		細目 1	藩制改革之議(藩制制定ニ付)	(明治 3年)	山口藩議員 境 栄蔵外 5名				
		細目 2	投火書(自序・沿海防禦之箇条 外目録)	安政 4年丁巳 10月 25日	脇屋三郎源邦光 (新田邦光)				新田邦光(竹沢寛三郎:文政12年~明治35年)は阿波国美馬郡出身、 弘化・嘉永期に西国を遊歴し神道護国論を主張した神道家、「神風秘 策」「回天策」などの著作がある、慶応 4年に飛騨高山代官所を接收 し初代高山県知事となる、維新後、有栖川宮邸に神道修成派の本部を 設ける
		細目 3	御国表御取約ニ付無足中小性一 統連署稲田家へ指出シタル存志 書之写	明治元年 3月 14日					「澄水会」罫紙使用、奥書あり「右之外高取格よりも差出したる意見 書ありき今失ふ」
36	[藩政関係記録]	総目					縦	1	
		細目 1	(公務摘録)	明治 2年					「澄水会」罫紙使用、大正 15年維新史料編纂局の借入に同じ同年 7 月に返却されたもの、蜂須賀茂韶の行動などを記す

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 2	(明治二年正月改正職員ニ付書簡写)	明治 1 8 年	従二位侯爵蜂須賀茂韶家令 藤本文策	修史館監事 巖谷修殿			「蜂須賀」罨紙使用
		細目 3	(家譜中記載之職員ニ付問合)	明治 1 8 年 2 月 1 2 日	修史館監事 巖谷修殿	従二位侯爵蜂須賀茂韶殿令扶			「太政官」罨紙使用
		細目 4	(藩政改革ニ付達書類写)	明治 2 年					「澄水会」罨紙使用、阿波国にて初て汽船製造の事ほか 1 0 件
		細目 5	(藩政関係記録写)	(正徳～享保)					「澄水会」罨紙使用
		細目 6	(日記摘録)	文久 4 年～慶応 3 年					「澄水会」罨紙使用
		細目 7	(阿波・淡路石高ほか書付写)	寛文 1 1 年 亥 正月					「澄水会」罨紙使用、幕府への書上を写したものの、阿波各郡の明細も記載
		細目 8	(台場築造他書付写綴)	(幕末)					冊とは別に挟み込まれたもの
37	〔蜂須賀宛書翰〕(鉄道興立見込ニ付)			明治 6 年	(池田) 章政ほか 7 名	従二位蜂須賀茂韶卿閣下	縦	1	「蓬左文庫」のラベル貼付
38	探索書略文〔諸藩事情探索書〕			元治元甲子冬 11 月	南軍曹(薰風)文・尾方長栄記・□義写		縦	1	藤堂和泉守伊勢警衛仰付、尾張老公討長御出馬、水戸天狗党の動向など
39	古今雑話 全						縦	1	将軍家御大礼之記(天保 8 年)・信州浅間山焼崩一条・浅草弾左衛門由来・両国万八ニ而大食之会・長寿人之事・日本左衛門・因幡小僧之事・殿中刃傷名前書などを雑多に集めたもの
40	証文扣						縦	1	将軍家御大礼之記(天保 8 年)・信州浅間山焼崩一条・浅草弾左衛門由来・両国万八ニ而大食之会・長寿人之事・日本左衛門・因幡小僧之事・殿中刃傷名前書などを雑多に集めたもの
41	明君一斑抄				(徳川斉昭)		縦	1	正式名称は「明訓一斑抄」、「澄水会」罨紙使用
42	西遊雑記(西国遊歴・交友録)			(安政 6 年)	岡田儒(著)		縦	1	岡田儒は御儒者、万延紀元十月に記した春洋漁人井上黙の跋文あり
43	〔履歴書 御藩制勤務上申〕			(明治 24 年)			縦	1	
44	〔所司代関係文書外〕	総目					縦	1	
		細目 1	所司代より伝奏江達書(将軍家御縁組ニ付大赦ほか達写)	(文久 2 年)	(京都所司代)				「澄水会」罨紙使用
		細目 2	(郡県制ほかニ付政事向建言草案)	(明治初年)					御手元器具・御家系・御供連などの草案あり
		細目 3	(武士地・町地区別ニ付伺)	(明治 3 年) 庚午 6 月	東京府	弁官			「徳島県」罨紙使用
		細目 4	制度局上書(東京府城境界整理ニ付写)	(明治 4 年) 辛未 2 月	制度局				

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目5	米売買騒動一件	(明治4年) 未5月					「蜂須賀」罨紙使用
		細目6	(文久三年記事簡条書)	文久3年癸亥					
		細目7	(禁中諸法度ほか写)	(元和～延享)					「澄水会」罨紙使用
		細目8	(将軍入京・加茂下上社行幸・石清水行幸行列書)	文久3年					「御上洛 大津駅より御入京御供建」 「加茂下上社江行幸御儀丈録」 「石清水八幡宮 行幸御行列」 所収
45	[藩庁諸達示]	総目					縦	1	
		細目1	(士族宛藩庁達写)	(明治3年)					「澄水会」罨紙使用
		細目2	(阿波国制度令達筆記概略写)	(天保7年～嘉永7年)	美馬郡瑞山村前庄屋 現今村長 武田浦三郎				文末に武田家由緒書あり
		細目3	維新前後阿波国御政事ニ付重ナル事件抜書	(文久3年～明治5年)	美馬郡瑞山村 武田浦三郎 印				
46	[淡路御陵ニ付意見書・保科正脩建白書]	総目					縦	1	保科正脩は版籍奉還後に公議人、明治3年に徳島権少参事をつとめた人物
		細目1	覚(淡路御陵ニ付意見書写)	(明治)3月23日	松野五郎兵衛				但書「三月廿六日左の意見書小杉五郎へあてゝ指廻し弁事局へ指出されたきとの事によりてたゞちに弁事へ指出しぬ」
		細目2	慶応末年保科正脩建白書写	慶応3年	山本弥野右衛門(保科正脩)				「澄水会」罨紙使用、2点あり、11月20日付は徳川家の相続者、朝廷・東都の守衛・土佐藩との親睦其外ニ付、12月晦日付は京都警衛・海岸警衛其外ニ付
		細目3	上(藩庁役人省略・文武修行其外ニ付建白書)	(明治元年)戊辰11月	日比野六大夫(克巳)				日比野六大夫(克巳)は明治2年に徳島藩権大参事を務める
		細目4	(郡県制採用・帰農商論其外ニ付建白書)	(明治3年カ)7月	岡田真(惟恭)	小室(信夫)大参事			岡田真(惟恭)は儒学者・文学教授
47	家茂公将軍宣下之後 幕府へ御差出ニ相成候 阿波淡路高辻帳			安政6己未年			縦	1	「澄水会」罨紙使用
48	郷土格之面々へ被下置御座候御折紙御書并持伝之書状類目録						縦	1	
49	[成立書](履歴書)	総目					縦	1	
		細目1	成立書(立花内記信近・和享・近義履歴書)	(明治)	蜂須賀近義				立花内記(信近)は御年寄仁尾内膳の子、蜂須賀喜和(豊前・11代重喜の3男)の内願により文化2年12月に御家来に取り立てられる、新地高300石、寄合席、明治4年11月に3代目近義は蜂須賀と改称
		細目2	成立書抜(蜂須賀喜周・喜共・喜文・喜心履歴書)	明治16年6月	蜂須賀喜心				蜂須賀喜周は喜翰(若狭・11代重喜の2男)の子、享和元年正月に家老(4000石)となる
		細目3	成立書(津田新五左衛門履歴)		津田存窩				津田新五左衛門(信実)は弘化元年9月に家督相続、歴代は御鉄砲組頭を務める
50	[淡州地方引渡一件]	総目					縦	1	包紙が貼り付けられている、上書「淡州地方引渡一件」

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 1	(蜂須賀茂韶家族・家職書上案)	(明治 8 年以降)					
		細目 2	(林君詔之道具・井上君打合之分其外ニ付書簡)	(明治) 1 月 2 1 日	保科正脩	伊吹直亮様			保科正脩は版籍奉還後に公議人、明治 3 年に徳島権少参事をつとめた人物
		細目 3	(御依頼之電信為替ニ付書簡)	(明治) 1 1 月 7 日	馬越恭平	黒部宣能殿			
		細目 4	(御邸御恩借金返納其外ニ付書簡)	(明治) 1 2 月 9 日	西川□□□	伊吹直亮様・森先雄様			
		細目 5	訴状 (不当利得金支払請求之件写)	明治 4 2 年 9 月 1 日	原告代理人 高窪喜八郎・一瀬房之助				「蜂須賀」罨紙使用
		細目 6	御手形 (着物代銀請取書)	(明治) 丑 5 月 3 1 日	木むら幸二◎				
		細目 7	歎願 (名東郡徳島寺町大瀧山薬師仏の由緒・修繕費ニ付)	明治 2 0 年 4 月 8 日	徳島県阿波国名東郡徳島寺町源久寺住職 源完忍◎ほか 2 名	従二位蜂須賀茂韶殿			大龍山とは蜂須賀家政が入国した際、勝瑞城下 (藍住町) にあった持明院をこの地の麓に移して薬師如来を安置し、大瀧山持明院と号した山号に由来する、持明院は明治初年の廃仏毀釈で廃絶、源久寺も勝瑞から移された真言宗の寺院
		細目 8	(好生舎返納金一条ニ付書簡)	(明治) 1 1 年 6 月 5 日	藤本文策◎・賀川玄庵◎	井上高格様			井上高格は幕末期に奥小姓役をつとめる、綴られているわけではなく挟み込まれた文書
51	御屋舗目付心得之覚 [御屋舗目付心得之覚]				阿部文右衛門在役中		縦	1	「澄水会」罨紙使用、おもに嘉永から文久期にかけての屋敷に関わる触・条目など、近藤直左衛門所持
52	探索書 [各藩探索書]			(明治 4 年)	広瀬鯉喜次・阿部鏡一ほか		縦	1	「澄水会」罨紙使用、「高知藩職制表」を挟み込む、鹿児島・和歌山・讃岐 (高松・丸亀)・伊予 (西条・小松・今治・松山・吉田・宇和島)・高知各藩の明治初期藩制・軍制などにつき探索・尋問したもの
53	封事 (海防・軍制・洋船製造・農兵・人材育成他ニ付建白三十一箇条)			1 1 月 2 8 日	沼田虎三郎		縦	1	
54	江戸探索書抜萃 (諸歎願・建白書写)			(文久～明治)			縦	1	「会藩檄文」「尊幕論」「奏歎願口上書」(中条金之助ほか徳川救済歎願書)「町奉行達書」(弾左衛門其外ニ付)「乍恐御内々奉言上覚」(攘夷其外ニ付上杉家建白書)「久留米藩半田門吉姉川英造越前表江探索ニ罷越彼地之事情書取」「処女菅原朝臣薫子」(洋夷ニ付若江薫子建白書)
55	[大阪御陣中御国許御山始御番之次第]	総目					縦	1	
		細目 1	大阪御陣中御国許御山始御番之次第	(江戸)	小杉明發識				奥書あり「右有人帳以野口年長自筆本影写 小杉明發識」
		細目 2	(蓬庵公御書之写・福聚院殿御法会人名簿)						蓬庵は蜂須賀家政、福聚院殿は同正勝のこと、「蜂須賀」罨紙使用
56	[御改革意見書]	総目					縦	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 1	上 (御一新大改革ニ付)	(慶応4年) 閏4月	御仕置一同・御年寄一同・本ヱ一同・御目付一同				
		細目 2	史籍編纂事蹟記憶書 (第二次長州戦争・薩摩藩邸焼討事件・鳥羽伏見戦後の江戸引揚其外之事蹟ニ付)	明治24年9月	根本熊次郎	池田静心齋殿・井上高格殿・河瀬伴作殿			国史編纂史料として提出したもの、根本熊次郎は幕末期に江戸留守居役
57	諸国距離表				大島弥左衛門親次撰		縦	1	徳島より日本五畿七道・二島 (彦岐・対馬) ・蝦夷・諸国都府・海外などへの直路・方位・時差其外を表にしたもの
58	布哇国条約書草按ニ付意見書			1881年7月20日	ジェイ・ボアソナード手署 宇川盛三郎訳		縦	1	「蜂須賀」罫紙使用、ハワイ王国との条約締結につきボアソナードの意見書写、蜂須賀茂韶は明治13年～15年まで関税局長
59	〔鎮祭詔写・阿淡育武会改革案〕	総目					縦	1	
		細目 1	鎮祭詔写・宣布大教詔写・宣教長官宣命写 (大教宣布の詔)	(明治3年正月3日)					版本
		細目 2	阿淡育武会改革案						「徳島市富田浦町字東富田御所有地地籍図写」とも
60-1	〔維新関係史料 一〕			(文久元・2年)			縦	1	東禅寺事件届書、東都名産魚名寄、役者勤附評判記 (諸大名・幕閣を役者・演技に見立てた風刺)、黒沢新左衛門 (竹内遣欧使節団に随行) の外国御供先よりの書状写ほか
60-2	〔維新関係史料 二〕			(文久2年)			縦	1	坂下門外の変届書、島津久光上京ニ付風聞書、幕閣交替ニ付風聞書、江戸表風聞書ほか
60-3	〔維新関係史料 三〕			(文久2年)			縦	1	幕政改革、東禅寺事件処分、参勤交代制緩和、京都天誅事件ほか
60-4	〔維新関係史料 四〕			(文久2年～3年)			縦	1	将軍上洛・諸大名入京、赤穂藩天誅事件・足利木像鼻首事件・英船横浜渡来ほか風説書
60-5	〔維新関係史料 五〕			(文久2～3年)			縦	1	阿波藩への内達書・将軍東帰不許可・英船応接ほか書付・風説書
60-6	〔維新関係史料 六〕			(文久3年)			縦	1	薩英戦争・天覧馬揃・八月十八日政変・天誅組の乱ほか書簡・風説書
60-7	〔維新関係史料 七〕			(文久3年)			縦	1	奉勅攘夷の書付・将軍還御願書・幕閣風刺のちよぼくれほか
60-8	〔維新関係史料 八〕			(文久3年)			縦	1	八月十八日の政変ニ付風説書・天誅張紙への返答・天誅組及び生野騷動ニ付風説ほか
60-9	〔維新関係史料 九〕			(文久元～元治元年)			縦	1	坊主長坂蒼峯言上書・真忠組事件書付・長州処分ニ付書付・家茂従一位右大臣宣下ニ付書付・脇坂淡路守・黒田世子・松平相模守他上書ほか
60-10	〔維新関係史料 十〕			(文久3～元治元年)			縦	1	朝廷尊奉条目十八箇条・長州家ニ而臣下一統江戸布告書・松平大膳大夫御示談書・薩州船江長州より打掛一条・一橋中納言御参内応接・池田屋事件風聞・西国下向時の三条実美御詠ほか

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
60-11	[維新関係史料 十一]			(元治元年)			縦	1	六卿建白・尾州熱田神宮前張紙・長州寛典処分二付建白書・禁門の変ニ付京都大變風聞書ほか
60-12	[維新関係史料 十二]			(元治元年)			縦	1	禁門の変・筑波挙兵の風聞書ほか
60-13	[維新関係史料 十三]			(元治元年)			縦	1	攘夷貫徹・内乱回避其他ニ付諸侯建白・兵火ニ付夢奇談聞書ほか
60-14	[維新関係史料 十四]			(元治元～慶 応元年)			縦	1	長州応接一件・長州家老首実検・田沼玄蕃頭弾劾文ほか
60-15	[維新関係史料 十五]			(元治元～慶 応元年)			縦	1	筑波挙兵其外水戸風聞書・水戸浪士処分・將軍進發令・將軍進發ニ付幕閣内評・長州領海江和蘭軍艦通行ニ付柴田日向守・和蘭公使対話書・長州征伐進發ニ付達ほか
60-16	[維新関係史料 十六]			(慶応元年)			縦	1	御進發供奉御役人・御進發御行列・將軍家茂公御進發御人数日割書
60-17	[維新関係史料 十七]			(慶応元年)			縦	1	諸藩風刺・膳所浪士処分・五月二十四日から閏五月十七日までの日記・諸侯建白書ほか
60-18	[維新関係史料 十八]			(慶応元年)			縦	1	長州応接関係・奇兵隊の動向などニ付風聞・藤堂公建白・中村敬輔弾劾書・対州風聞ほか
60-19	[維新関係史料 十九]			(慶応元年)			縦	1	筑前・対州家中混雑・小倉重役書付・和蘭国書翰写・長崎風説書・山陽処士談話ほか
60-20	[維新関係史料 二十]			(慶応元年)			縦	1	彦根藩士長防探索・津和野藩士談話・横浜探索書・魚見立諸藩川柳・長防攻入差図・英公使アールコソク論弊書ほか
60-21	[維新関係史料 二十一]			(元治元年～ 慶応元年)			縦	1	水戸武田伊賀守歎願書・大洲留守居談話・日本新聞外論卷九・対州侯上書ほか
60-22	[維新関係史料 二十二]			(慶応元年)			縦	1	ちょぼくれ・長防動静探索書・夷船兵庫渡来ニ付風聞書・条約勅許ニ付風聞書・一橋家水島八左衛門面会次第・越藩瓜生三寅直話ほか
60-23	[維新関係史料 二十三]			(元治元～慶 応2年)			縦	1	防長探索書・芸州表糾問次第・長州事情尋問・紀州侯建白書・宮川六郎建白書ほか
60-24	[維新関係史料 二十四]			(慶応2年)			縦	1	芸州談判風説・防長処分ニ付肥後藩探索書・溜席留守中建白書・長州勢倉敷襲撃ニ付風説ほか
60-25	[維新関係史料 二十五]			(慶応2年)			縦	1	小笠原老岐守長州御裁許申渡絵図・土州屋敷江投書写・芸州及び雲州風説書・防長山口城周辺絵図ほか
60-26	[維新関係史料 二十六]				(慶応2年)		縦	1	石州探索書・雲州之来書写・浜田藩届書・小倉来状・七月廿七日戦争図・芸州口戦争絵図ほか
60-27	[維新関係史料 二十七]			(慶応2年)			縦	1	小倉動静ニ付書状・大野村大合戦陣所絵図・宮内村戦争陣所絵図・赤坂口・大谷口先頭風説・小倉口戦争絵図・一橋中納言宗家相続ニ付書付ほか
61	[慶応三年 難波事件 教育沿革史 外]	総目		(慶応～明 治)			縦	1	
		細目 1	(江戸長久館教員名簿ニ付書簡)	明治18年10月	蜂須賀茂韶家令 藤本文策	文部大書記官 中島永元殿			「蜂須賀」罨紙使用、別記として「江戸旧藩邸長久館役員名面」「旧徳島藩邸内寺子屋」が記載される、教育沿革史編纂に関わるもの

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 2	(八丁堀長久館教員名簿)	(明治28年)					「澄水会」罨紙使用、明治28年3月30日に内藤多少が差し出した書面をもとにしたもの
		細目 3	風土記(明治初年の諸藩風・藩力概要)	(明治3～4年)					金沢・鹿児島・静岡・名古屋・広島・山口・高知・和歌山・福岡・熊本・佐賀・福井・津各藩の概要を述べ、徳島は「藩風高知ニ似タリ但藩力高知ニ不及」とまとめる
		細目 4	(難波伝次郎・長橋松之進救済ニ付歎願書写)	(慶応2～3年)	志摩利右衛門				「貴族院」罨紙使用、志摩利右衛門は名西郡東覚田村の藍商で草莽の志士の支援者、難波伝次郎は中島錫胤、長橋松之進は小室信夫(中島の弟子)のこと、兩人とも足利木像鼻首事件に関与した人物、歎願書中に兩人の経歴が記載される、歎願書は慶応2年12月付、同3年3月10日付、同年3月付の3点あり
		細目 5	内伺書(沿海防備費献金ノ儀ニ付伺書写)	明治20年3月20日	山梨県知事 山崎直胤ほか4名	内閣総理大臣伯爵伊藤博文殿			「徳島県」罨紙使用
		細目 6	吉田較一之碑(碑文写)		従二位蜂須賀茂韶公題額・岡本斯文撰並書				「徳島県」罨紙使用、吉田較一は熊本県宇田郡長、幕末期に徳島藩文学復讐方兼漢学寮長、名東県・熊本県出仕
		細目 7	上田甚五右衛門文通(祖先より御預の徳利返送及び上田氏と中島錫胤の先祖難波氏の由緒ニ付)	(明治)10月	上田甚五右衛門	中 錫胤様			「蜂須賀」罨紙使用、掛紙・押紙・下ヶ札あり
		細目 8	歎願(鶴林寺再建寄付ニ付)	明治19年9月3日	徳島県勝浦郡生名村鶴林村住職宗我部瑞応(印)	社寺御待受 池田静心斎殿・蜂須賀喜心殿			鶴林寺は蜂須賀家政(蓬庵)以来蜂須賀家から崇拝された寺院
		細目 9	(内藤藤翁勤王一途ニ付歎願書)	(明治)					内藤藤翁はもと村上藩主内藤信親で幕末期に老中を務めた人物
62	[学校説付洋学之順序]	総目		(嘉永～明治)			縦	1	
		細目 1	学校説附洋学之順序	(明治)					「徳島藩」罨紙使用
		細目 2	(九州諸藩見聞略記)	(明治4年正月)	(岡田真太郎・伊東平蔵)				「澄水会」罨紙使用、長崎・島原・鹿児島・熊本・柳川・佐賀・福岡・小倉の見聞記、ほかに「佐賀藩官禄」「同藩課程」「予州松山藩改革」を記載、岡田真太郎(惟恭)は御儒者・文学教授
		細目 3	(徳島藩嘉永二年中事件抜書)	(嘉永2年)					「澄水会」罨紙使用、公義御鶴拝領・御隠居様大坂御乗船ほか
63	[学事書類]	総目		(明治)			縦	1	
		細目 1	(大学校学校分課・学校條令)	(明治3年)					
		細目 2	学舎制	(明治)					付札3点あり
		細目 3	英国王子御接待條件(英国王子アルフレッド来朝ニ付接待十三箇条)	(明治2年)					下ヶ札2点あり、アルフレッド(のちのエディンバラ公)は世界一周航海の途次、明治2年7月に日本に立ち寄る。

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
64	[英国人ヨリ長崎奉行江指出書]	総目		元治元年			縦	1	
		細目 1	英国人ヨリ長崎奉行江指出書写(取極タル条約勵行ニ付)	元治元子年 7月24日					
		細目 2	(米国の政治制度・キリスト教・社会・風俗などニ付書簡写)	西洋第2月7日 皇国慶応4辰正月13日	伊勢時治(横井左平太)	熊城諸君崎陽諸君各案下			横井左平太(弘化2年~明治8年)は横井小楠の甥、慶応2年4月に弟横井大平とともに渡米、明治6年帰朝。「奥羽越三州之呈書 各国ミニストル閣下」(薩長の不義ニ付呈書、仙台華名勅負ほか3名差出)もあり。奥書「明治二正月写」
		細目 3	嘉永六年癸丑六月墨夷浦賀渡来ニ付薩州侯越中侯建白書并ニ老中阿部公列侯旗下衆へ申渡之書	癸丑歳(嘉永6年)					「薩州侯上書」「松平越中守上書」「丑十一月朔日諸御大名御旗下衆御居残りニ而阿部伊勢守殿ヨリ被仰渡」で構成される
65	仏朗西高等法院			(明治)	福永謙三訳・宇川盛三郎点検		縦	1	バトビ「参事院」罫紙使用、一氏著作「仏朗西行政法」(1862年巴里刊行)第三卷より抜粋したもの、蜂須賀茂韶は、明治15年5月から18年12月まで参事院議官を務める
66	会館資本金上納予算			明治15年6月			縦	1	「華族会館」罫紙使用、明治15年から25年までの華族会館資本金をまとめたもの
67	[米艦渡来御警衛一件]	総目		(嘉永6~7年)			縦	1	
		細目 1	米艦渡来御警衛一件	嘉永癸丑6月(7日~14日)					「蜂須賀」罫紙使用、「栗浜」の絵図が添付される
		細目 2	(品川台場絵図)	(嘉永6年)				1	
		細目 3	亜米利加船渡来ニ付大盛羽田出張記事(津田新五左衛門日記)	嘉永7寅年正月18日~同年3月15日	津田新五左衛門(信実)				「澄水会」罫紙使用、津田信実(490石余)は鉄砲組頭・御目付役・佃島鉄砲州警衛御用をつとめる
		細目 4	浦賀行略記	嘉永丑年六月(4日~11日)					「澄水会」罫紙使用、冒頭に「此記ハ多ク土民ノ口頭ニ出レハ其誤リ極テ多カラシク之ヲ咎ムル勿ランコトヲ」とあり
68	入米記行(万延遣米使節の華盛頓紀行写)			(万延元年)閏3月25日~4月2日			縦	1	
69	横浜到新冠へ渡行日誌			(明治2年)11月4日~明治3年正月11日			縦	1	「澄水会」罫紙使用、明治2年8月に徳島藩は日高郡新冠の分領支配を命じられ、同4年3月に同地は稲田邦植に割り渡される
70	[艦船長崎出発台湾ニ至ル乗組員ノ私翰]	総目					縦	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目 1	(台湾出兵ニ付書簡)	(明治) 7年 5月16日～7 月6日					「澄水会」罨紙使用、台湾南部清水港幕営・亀山陣営・風港陣営などから発せられたもの、「石門口進軍ノ景況書」など記載
		細目 2	英仏江之使節途中より之書翰書 抜(太平天国の乱ニ付漂流民音 吉面会次第写)	(文久2年) 戊辰4月15日					「澄水会」罨紙使用、音吉は尾張国知多郡小野浦出身、天保3年遠州 沖で漂流しモリソン号で日本に向かうも砲撃にあいアメリカへ、その 後上海デント商会で勤務。マリナー号で来日し日米交渉に通訳にあ たった。「英仏江之使節」とは竹内遣欧使節団のこと。同使節団の森 山栄之助と会見した
		細目 3	西郷吉之助対問(岩倉勅使鹿児 島訪問之節政体諮問ニ付)	(明治3年)	(西郷隆盛)				「澄水会」罨紙使用
		細目 4	(外国人への暴行ニ付禁佩刀之 見込之旨書簡写)	明治3年庚午 12月28日	外務卿・輔兩名	外国公使宛			「澄水会」罨紙使用
		細目 5	養忠書帖(高鋭一宛大鳥圭介・ 勝海舟書簡写)	(慶応・明 治)	大鳥圭介・勝海 舟	高鋭一			「澄水会」罨紙使用、冒頭に「高鋭一所蔵 廿八年四月五日澄水会へ 持参」とあり、高鋭一は徳島藩校長久館蘭学教授、太政官左院二等 書記官(明治5年)、内務勸業寮九等出仕(同9年)、農商務省准判 任御用掛(同14年)などを歴任
		細目 6	触輦死言(尊王攘夷・官吏黜陟 其外ニ付建白書)	明治2年巳2 月下旬	大木主水				「第一黜姦臣陟正人布攘夷之令事」「第二鞫大坂府及兵庫諸官吏 事」「第三多養御親兵事」「第四停月給金商法司事」「第五適用金銀 更鑄精造之事」「第六興大学校事」
		細目 7	風説書(提灯・陣笠之儀ニ付諸 藩伺)	(明治)	猪子才蔵・安田 知太郎				
		細目 8	政体国律三論之区説(府藩県三 治一定ニ付)	庚午(明治3 年)					
71	明治元年史料附録 御改革諮問 并奉答書(藩政改革ニ付御直書 及び奉答書写)			庚午(明治3 年)			縦	1	「澄水会」罨紙使用、諸役場人減・武芸規則・軍政取立・節儉・学校 取行・文武修行についての諮問につき、仁尾平太・酒部丹後・井上兵 馬・尾関源左衛門・武谷蒨・日野六太夫の奉答書
72	[維新前後雑]	総目					縦	1	
		細目 1	(公家衆交際・修学院御幸其外 ニ付書抜)						「澄水会」罨紙使用、「令條録」「修学院御幸記」より抜粋
		細目 2	(攘夷ノ件叡慮外幕末期文書目 録)						「蜂須賀」罨紙使用
		細目 3	(賈金・禄制・国体論他公議所 議論写)	(明治2年)	徳島藩議員 山 本弥野右衛門				高鍋藩士均禄大意(坂田秀)・国体論節略・各藩公議人名簿ほかも記 載される
		細目 4	義烈九士碑銘(生野義兵奇兵隊 九士碑文)		長光世章撰				「澄水会」罨紙使用、川上弥市・長野熊之丞・下瀬熊之進・小田村信 之進・白石廉作・久富豊・和田小伝ニ・井関栄太郎・伊藤百合五郎の 九士の碑立写
		細目 5	(常備兵編成ニ付兵部省達)	(明治3年) 2月	兵部省				冒頭に「二月廿二日 和歌山藩より廻達」とあり
		細目 6	(福岡藩・久留米藩所分ニ付御 沙汰書写)	(明治4年)	太政官				「澄水会」罨紙使用

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
73	〔亜米利加使節登城之次第〕			安政4年			縦	1	「澄水会」罨紙使用、「巳十月 亜墨利加使節登城之次第」「巳十一月 於蕃書調所亜墨利加使節江対話之趣」「巳十二月 亜墨利加使節江応接之趣」を収録
74	参議木戸順一郎帰着ノ上同僚ヘノ洋行演説書〔参議木戸順一郎洋行演説書〕			(慶応2～明治6年)			縦	1	「木戸参議帰朝後演説」「伏見戦争風説」「伏見合戦探索ノ聞書」「速水賢蔵芸州罷帰言上ノ覚」「芸州へ被遣居侯伊剛大夫殿聞書」「大原殿建言十ヶ条」「備前侯より一橋公ニ差出書」などを収録
75	〔維新雑記〕	総目		(慶応元～明治2年)			縦	1	
		細目1	(防長国内動搖ニ付岡山藩沢井與より借受書付写)	(慶応元年)2月18日					長州藩届書の作成者は小川彦右衛門
		細目2	(維新时期風聞写)	(明治2～3年)					「東京之事実」「正月十七日港説聞書」「長防動乱写書」「風聞」「密説」「榎村宅ニ而咄之聞取写」「市中風聞書写」「杵築藩士報知之写」「奈良県表門張紙」「新聞」などを収録
76	鉛筆記聞			(文久元年)	(栗本鋤雲)				箱館奉行支配下の属吏として蝦夷地在勤中の鋤雲が、私人カシオンから西洋・仏国事情を質問し書き留めておいた備忘録
77	費歩一定説明(税関規則)			(明治)13年5月12日	関税局審査掛		縦	1	「大蔵省」罨紙使用、「輸入品費平均表」を付す
78	〔地方税出納決算裁定書〕	総目		(明治)			縦	1	
		細目1	(秋田県令・県会地方税出納決算異見ニ付裁定書)	明治15年6月					「参事院」罨紙使用、秋田県々会議長成田直衛・秋田県令石田英吉の具状書もあり
		細目2	(軍備充実ノ義ニ付口演写)	明治20年3月23日	内閣総理大臣伯爵伊藤博文口演	府県知事各位			「徳島県」罨紙使用
79		総目		明治			縦	1	
		細目1	内国旅費規則(家令・家従ほか出張費・旅費ニ付)	明治32年8月1日	(蜂須賀)				
		細目2	支給内規(家職年俸ほか)	明治32年8月1日	(蜂須賀)				「蜂須賀」罨紙使用
		細目3	(家職恩給支給内規案)	(明治)	(蜂須賀)				「蜂須賀」罨紙使用、官吏恩給法などを参考に家職恩給支給内規など家職内規を制定したもの
80-1	蜂須賀家御家記附録 旧例彙纂一			(天保～文久)			縦	1	「澄水会」罨紙使用、森重遠の識語(明治28年5月)あり、「(江戸表御在府并御留守中御定金)」(天保14年)・「屋敷之覚」(文久3年)・「御門出入御制法」(卯4月)・「天保七丙申年七月改江戸住分限帳」「御掃除小頭諸御役場掛御掃除之者名面并御抱者人数取調帳」「諸御屋敷新役人人数帳」「諸御屋敷新役人御用掛」などを収録
80-2	蜂須賀家御家記附録 旧例彙纂二			文政13年寅年4月			縦	1	「澄水会」罨紙使用、森重遠の識語(明治28年5月)によると養父右源太小目付勤役中の筆記に係わるもの、「(峻陵公御帰国ノ節諸事筆記)」を収める。峻陵公は13代斉昌のこと

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
80-3	蜂須賀家御家記附録 旧例彙纂 三			(江戸)			縦	1	森重遠の識語(明治28年5月)によると養父右源太小目付勤役中に書き写したもの、「(冠婚葬祭ほかニ付書札例)」「(11代重喜子女家譜抄)」を収める
80-4	蜂須賀家御家記附録 旧例彙纂 四			(文政3年)			縦	1	「澄水会」罨紙使用、森重遠の識語(明治28年5月)あり、「(江戸表御次小性役勤方筆記)」を収める
80-5	蜂須賀家 旧例彙纂 五			(江戸)			縦	1	森重遠の識語(明治27年1月)によると養父右源太小目付勤役中書き写したもの、「(御目付役手許記録)」を収める
81-1	[蜂須賀雑文書 一]	総目		(明治～昭和)			縦	1	
		細目1	(市街地火災警備ニ関スル寄付ニ付御下命被下度旨)	明治44年2月25日	主任石立半三郎(印)	御家令心得 萩原弘殿			「侯爵蜂須賀農場」罨紙使用
		細目2	(福聚公・大龍公贈位ニ付告文案)	昭和4年4月25日					福聚公は先代正勝、大龍公は14代斉裕のこと、蜂須賀正韶嗣子正氏の告文案(昭和4年4月22日)も付す
		細目3	会計規程(蜂須賀家会計規程)	(明治～昭和)					「蜂須賀」罨紙使用
		細目4	(御沙汰書・御諮詢書・布告書ほか写)	(文久2～昭和12年)	太政官ほか				「蜂須賀」罨紙使用、鉛筆書き
		細目5	第壹回海禪寺永続保存会議	明治15年6月24日	檀家惣代 建部秀隆ほか3名	蜂須賀茂韶殿			海禪寺は寛永元年に神田明神の北妻恋に創建され、蜂須賀家の庇護篤く「阿波様寺」と呼ばれた
		細目6	(光明院客棟・本堂家根修繕積計書)	大正3年3月	高野山蓮ヶ谷家根職 山本幸右衛門(印)	光明院執事殿			高野山光明院は阿波国と縁が深く、蜂須賀家代々の遺骨を納め一族・家臣を弔った寺院
		細目7	(県社国瑞彦神社石造鳥居建設書類)	大正3年4月	徳島市大字富田浦町 前田久吉(印)	蜂須賀昭邦殿			「前田工業部」罨紙使用、国瑞彦神社は藩租家政以下歴代藩主を主祭神とする神社で、文化3年に11代治昭によって創建される。国瑞彦は家政の神号、維新後諸経費の支給や社殿の管理は蜂須賀家が行う
		細目8	乗馬躰勢教師デシャルム説明(乗馬躰勢指南書)	(明治初年)					デシャルムは慶応3年にフランス軍事顧問団の一人として来日した騎兵中尉
		細目9	国瑞彦社御鳥居見積書	大正3年5月	大工 岩井助吾				綴からとれた状態、細目7と関連
		細目10	名古屋駅御送迎人名簿						「蜂須賀」罨紙使用
		細目11	正氏様関西・四国地方御旅行費明細書(案)						「蜂須賀」罨紙使用、蜂須賀正氏(明治36～昭和28年)、父は正韶・母は筆子(徳川慶喜4女)、貴族院議員・探検家・鳥類学者
		細目12	国瑞彦神社御殿内御神霊明細書	(明治)					「蜂須賀」罨紙使用
		細目13	(宇治地所売却ニ付書簡)	(明治)43年8月11日	山城国宇治町 自園銘茶御小売商 藤井伝次郎	山本謙介様			

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目14	(小金井芳五郎御屋敷小使御雇ニ付身元引請証)	大正4年8月1日	東京市青山原宿百参拾七番地引請証人 小林惣五郎(印)	蜂須賀様 御用掛り御中			小金井芳五郎は神奈川県橘樹郡中原村字上丸子の平民戸主
		細目15	(芝区三田綱町九番地水栓委任状)	大正4年8月1日	芝区三田綱町九番地 蜂須賀正韶				
		細目16	(種痘済証書)	明治30年	神田区錦町一丁目一番地 大野恒徳ほか1名			4	「種痘証書三葉入」と墨書された袋には入っている、蜂須賀正韶・蜂須賀随子(茂韶夫人)・蜂須賀筆子・(正韶夫人)・蜂須賀年子(正韶長女)のもの
		細目17	身元引請証(田村ゆき御奉公ニ付)	明治36年7月3日	東京市京橋区築地明石町六番地身元引請人 田村半輔(印)	蜂須賀御家扶御中			
		細目18	証(金参千円振替貯金ニ払込ニ付)	大正元年12月7日	主任石立半三郎(印)	御家令心得 萩原弘殿			「侯爵蜂須賀農場」罫紙使用
		細目19	記(金壹千円上納ニ付)	明治44年10月28日	主任石立半三郎(印)	御家令心得 萩原弘殿			「侯爵蜂須賀農場」罫紙使用
		細目20	(別紙送付ニ付断簡)	(明治)3月13日	□□□ 戸室拝	小田様			「東京市芝区役所」罫紙使用
		細目21	(明治四十年年度残余金壹千円送付ニ付)	明治41年9月12日	西尾鋭磨(印)	御家扶 萩原弘殿			「侯爵蜂須賀農場」罫紙使用
81-2	[蜂須賀雑文書 二]	総目		(幕末~大正)			縦	1	
		細目1	(日本史列伝三事抄録)	(明治)8月4日	小杉楹邨				「澄水会」罫紙使用、平賀桃太郎の印鑑を押した下ヶ札あり、三事とは倭姫命・和気清麻呂・日野阿新丸の事蹟のこと、小杉楹邨は徳島藩の陪臣、明治2年に長久館国典学教授、3年「阿波国統風土記」編纂掛兼務、5年名東県少属、14年文部省入省、「古事類苑」編纂専務ほか
		細目2	証(大澤亀造地所地券書換願書ニ付進達書)	明治18年9月14日	群馬県南勢多郡上泉村聯合戸長役場(印)				「群馬県南勢多郡上泉村聯合戸長役場」罫紙使用
		細目3	地券預り証(大澤亀造地所地券証書引替ニ付)	明治18年9月12日	下大嶋村聯合戸長役場(印)	南勢多郡東上野村 大澤弥惣治殿			
		細目4	(東上野村大澤亀造地券証代替書換請取ニ付)	明治18年9月12日	右村戸長 大澤喜代七(印)	大澤弥惣治殿			「戸長役場」罫紙使用
		細目5	地券証預証(堤繁蔵地券証預置何時成共相渡ニ付)	明治18年9月30日	西群馬郡箱田村外九ヶ村聯合戸長役場(印)	振精組御中			「西群馬郡箱田村外九ヶ村聯合戸長役場用紙」罫紙使用
		細目6	(女屋彦人ほか四名印譜)	(明治)					

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目7	御下問ニ答へ奉ル一条 再考 (墮胎禁止の方策ニ付)	(明治2年) 巳5月13日・6月11日再考	知葛飾県 水筑 小相謹言				「金花堂」罨紙
		細目8	福聚院殿三百年御忌御法会	(明治18年)					福聚院は先代正勝のこと、綴からとれた状態で挟み込まれている
		細目9	(賀集珉平ほかの碑文ニ付書簡)	(明治) 5月6日	三吉武敏	新居敦二郎			書簡は綴からとれた状態で挟み込まれている、賀集珉平は焼き物珉平焼の創始者、ほかに仲野安雄・古東領左衛門の史料調査について述べる、「賀集珉平翁墓碑銘」と「沼田丈庵翁墓表」を付す
		細目10	(教化策ニ付建議案)	(明治)					漢文
		細目11	(石川丈山略伝)	(明治)					「蜂須賀」罨紙使用、石川丈山は江戸時代前期の文人
		細目12	(将軍上洛供奉ニ付達写)	(文久2年)					「澄水会」罨紙使用
		細目13	御書翰写 (淡路守帰国御暇ニ付達)	(文久3年) 2月25日	野宮宰相中将・坊城大納言	松平阿波守殿			「澄水会」罨紙使用、淡路守とは世子茂韶のこと
		細目14	(御法事執行ニ付書簡)	(明治) 1月4日					
		細目15	(市場相場ニ付書簡)	(明治) 10月14日	勘一	荻原様・小田様			
		細目16	(蜂須賀正韶学資金百五拾銭落掌ニ付書簡)	(明治) 21年4月24日	高良ニ	猪井永好様			「東山堂製」罨紙使用
		細目17	(蜂須賀齊裕贈正三位下賜ニ付上奏案文)	昭和4年4月25日	侯爵 蜂須賀正韶嗣子正氏				「飯倉 富井製」罨紙使用
		細目18	(今城殿家来八田采女遍歴ニ付書付)						
		細目19	(電信為替受取ニ付書簡)	(大正)	蜂須賀敏次郎	萩原弘様			
		細目20	(蜂須賀家収支予算説明案)	(大正)					「蜂須賀」罨紙使用
81-3	〔蜂須賀雑文書 三〕	総目		(幕末～大正)			縦	1	
		細目1	(日露開戦勤儉貯蓄軍資充実実施ニ付書付)	明治37年3月					「蜂須賀」罨紙使用
		細目2	経費取約追加 (家職年俸ほかニ付)	(明治・大正)					「蜂須賀」罨紙使用
		細目3	(大源院殿御伝記材料収集ニ付書簡)	大正8年10月27日	御囑託員代表 山内時行・曾我部道夫	蜂須賀侯爵家 家令 小野進一殿			甲・乙・丙・丁号文書を付す、大源院は茂韶のこと
		細目4	奉懇願上申 (観音寺観音堂営繕ニ付寄付願)	明治20年4月日	名東郡徳島富田浦町観音寺住職 森宣広 (印) ほか4名	蜂須賀侯爵家 家令 小野進一殿			江戸時代の観音寺は徳島城下の守護仏

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目5	(發明調整品滋養フード献納書類)	明治27年	徳島県阿波国名東郡坂井上村大字祖母ヶ島村八番屋敷 岡本丈三郎	陸軍参謀本部御中			
		細目6	審査部事務章程	(明治)					「会計検査院」罫紙使用、審査部は会計検査の事務を司掌する部署
		細目7	(金員貸付証書ニ付書類)	明治23年	庄野珍遠	御家扶御中			
		細目8	(金作贖刑ニ付建議案文)	(明治)					
		細目9	身元引請証(井上トラ奉公ニ付)	明治39年12月27日	東京市京橋区南鍛冶町拾壹番地 平民 保証人 井上直七(印)				
		細目10	通知書(株式会社八十九銀行債権者三浦大五郎ニ譲渡ニ付)	大正元年9月21日	三浦大五郎(印)	蜂須賀茂韶殿			
		細目11	(伯爵閣下御名義ヲ以テ伊賀鉄道株式御引受被成下度旨願書)	明治30年9月10日	伊賀鉄道株式会社社長 平川靖ほか9名	伊東祐賢殿			「伊賀鉄道株式会社」罫紙使用、伊東祐賢は三重県議会副議長・初代津市長・衆議院議員
		細目12	(天誅組拳兵ニ付藤堂和泉守上書)	(文久3年)9月15日	藤堂和泉守(高猷)				渋谷伊予(中山侍従殿使者)建議も含む、蜂須賀齊裕の義理妹量子は藤堂高潔(高猷嫡子)の夫人
		細目13	宅地賃借証	明治					未使用
81-4	[蜂須賀雑文書 四]	総目		(明治～大正)			縦	1	
		細目1	豊岡新田復旧工事落成ニ付不用品売却代納証	明治27年5月8日	池田静心斎(印)・庄野致遠(印)	藤本文策			
		細目2	豊岡工事掛員慰勞見込書(庄野致遠・池田静心斎見込書付)	(明治)26年12月17日					「蜂須賀」罫紙使用
		細目3	(防海費金三十万円下賜ニ付勅書写)	明治20年3月14日	奉勅 内閣総理大臣伯爵伊藤博文				「徳島県」罫紙使用
		細目4	(豊岡新田海岸堤防工事落成ニ付尽力ノ向々へ被下物見込書)	明治26年12月17日	庄野致遠(印)				
		細目5	在東京陸海軍将校(高井敬義ほか35名)	(明治)					「蜂須賀」罫紙使用
		細目6	在京阿淡出身陸海軍将校名簿	大正5年5月調	阿淡懇話会				「蜂須賀」罫紙使用
		細目7	阿淡育武会在京会員名簿	大正6年5月15日調				2	「蜂須賀」罫紙使用

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目8	文武叢誌発行ノ主意（智徳體ノ三育ヲ奨励）	明治26年10月	日本体育会幹事長 日高藤吉郎				
		細目9	御印半天御加附願	明治26年12月	桶屋由松・内田佐平治（印）	蜂須賀様 御役所御中			
		細目10	（七言律詩）		湘香新敦				綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目11	（興源寺御霊屋修築関係書類）	明治25年2月	橋本高二				袋とじされ開封不能の丁あり、興源寺は蜂須賀家の菩提寺
		細目12	中央鉄道株式会社計画大要	（明治27年）					綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目13	中央鉄道線路図	（明治27年）	彫刻師 原田信幹				綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目14	（中央鉄道株式会社創立ノ義相談ニ付書簡）	明治27年4月10日	横山孫一郎ほか3人	藤本文策			綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目15	Book Department（ネーションビクチャー代金領収書）	（明治）36年12月27日	Maruzen-Kabushiki-Kaisha	Mr. 蜂須賀			
		細目16	（明治二十六年度後半分所得税領収書）	明治27年3月8日	東京市芝区長 鈴木良輔	藤本文策殿			綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目17	（明治二十六年度後半分市税所得税納付状）	明治27年3月1日	東京市芝区長 鈴木良輔	藤本文策			綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目18	（自分耕地境界確定ニ付願書）	明治27年5月2日	町村金弥				絵図1点とも
		細目19	（御射場開式ニ付来客・料理ほか書付）	（明治）					下ケ札あり、「蜂須賀」罫紙使用
		細目20	記（丸太代金請求）	（明治）12月12日	鳶 齋太郎（印）	御役所 御役人衆中様			
		細目21	（西洋酒・和洋菓子御用商相営ニ付案内状）	明治28年7月	西洋酒 和洋菓子商 井東伊三郎				「井東伊三郎」名刺1点とも
		細目22	（徴兵適齢届出ニ付通知）	明治31年12月	東京市芝区長 川崎実	地主 差配人御中			綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目23	芝区告示第六号（家屋建坪検査ニ付）	明治28年2月25日	東京市芝区役所	三田綱町		2	綴からはずれた状態で挟み込まれている
		細目24	日本体育会第三回大運動会規則	明治26年10月	日本体育会				
		細目25	（東京倶楽部一週年総集會書類）	明治28年	東京倶楽部				
		細目26	（現米拾石被下方ニ付書付）	（明治4年）未12月20日	南出張所	鶴林寺			鶴林寺は勝浦郡にあった四国霊場八十八ヶ所のひとつ
		細目27	（豊国新田村南大手吉野川派々切川筋堤防石垣工事ニ付書付）	明治27年5月8日	庄野致遠®				紐がとれた状態で綴られず挟み込まれている

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目28	廿五年一月藤本氏来県ノ節指出候拾書写(興源寺御靈屋周圍修繕ニ付)	(明治25年)					紐がとれた状態で綴られず挟み込まれている、興源寺は蜂須賀家政創建ではじめ福聚寺、藩租家政～6代宗員・9代至央の墓所
		細目29	(興源寺御靈屋周圍図)	(明治25年)					綴からとれた状態で挟み込まれている
		細目30	(佐藤伊平ほか1名人名書付)	(明治)					綴からとれた状態で挟み込まれている
		細目31	証(御手紙受領ニ付)	明治26年12月30日	大橋樹太郎代 大橋三四郎 (印)	多田利喜三殿			綴からとれた状態で挟み込まれている
		細目32	注意(市会議員選挙・衆議院議員選挙人名簿調整ニ付)	明治28年3月1日	東京市芝区役所				綴からとれた状態で挟み込まれている
82-1	浦賀太平記附録 諸家上書一						縦	1	「異国船之儀御尋ニ付申上候書付」(弘化2年8月、筒井紀伊守)・「海岸防禦之儀ニ付愚意之趣申上候書付」(嘉永元年4月、同上)・「存付之儀申上候書付」(嘉永2年7月、江川太郎左衛門)・長山孝之助建議(嘉永6年)を収める
82-2	浦賀太平記附録 諸家上書二						縦	1	「桑名上書」(嘉永6年7月)・「加比丹上書」(嘉永5年9月)・「松平越前守殿上書」(嘉永6年8月)・「榑原式部大輔殿上書」(嘉永6年)・「薩州侯藩御届書」(嘉永6年8月)・「松平加賀守殿上書」(嘉永6年8月)・「松平薩摩守殿上書」(嘉永6年7月)・「松平肥前守殿上書」(嘉永6年7月)・「神奈川人上陸御届書」(嘉永7年2月)・「評定所一座申上書」(嘉永6年8月)を収める
82-3	浦賀太平記附録 諸家上書三						縦	1	「薩州侯上書」(嘉永6年)・「桑名侯上書」(嘉永6年7月)・御目付衆上書(嘉永6年8月)・「諸侯十七家上書」(嘉永6年)・「仙台侯藩大槻氏上書」(嘉永6年9月)・「浦賀風聞書」(嘉永6年)を収める
83	浦賀太平記附録 献酬書翰全						縦	1	米国大統領・魯国行程書翰和解を収める
84	京条理						縦	1	京都の縦町・横町の町名にふりがなを付けたもの
85	教童名目抄						縦	1	五倫・五味・五穀・十干・十二支など名数表を記したもの
86	鳥名						縦	1	鳥の名前を記したもの
87	木之部 上下〔木名〕						横	1	木の名前を記したもの
88	獸之部 全〔獸名〕						横	1	獸の名前を記したもの
89	〔阿波国拾郡并村附〕	総目					横	1	
		細目1	阿波国拾郡并村附						
		細目2	終日稽古乗組						乗馬稽古の番組を記したもの
90	公事取捌 寺社奉行所・御勘定所・町奉行所 上						縦	1	評定所での裁許取扱方をまとめたもの

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
91	安政紀事 一			安政4年己巳12月～5年午2月	佐藤正定・川村正朝ほか4名		縦	1	内題に「遺憾之記」とあり、小仏関所番関係者が収集した水府老公上書・垂墨利加使節応接書付などの写
92-1	〔旧藩記録類 乙〕	総目					縦	1	
		細目1	(豊国神社由緒・豊臣秀吉木像拝領次第)	明治21年8月6日写之	建島伊勢吉				「澄水会」罨紙使用、附図5点とも、文久元年に御城留書などを参考に謄写したものをさらに取捨してまとめたもの
		細目2	神祖御遺訓之御事(二代將軍秀忠夫人に与えた家康の訓戒状写)	(慶長17年)2月25日					
92-2	〔旧藩記録類 丙〕	総目					縦	1	
		細目1	(安政四年記事)	(安政4年)					「澄水会」罨紙使用、暴風・淡州三ヵ所台場築造、文武修練書付の記事をおさめる、「速水助左衛門履歴」などを使い抜粋したもの
		細目2	(関實雄履歴抜粋)	(安政4年)					「澄水会」罨紙使用、朝鮮飛来の鷹、峻陵院様(斉昌)御感ニ付書付
		細目3	(文久二年記事案)	(文久2年)					「澄水会」罨紙使用、乾元丸購入伝習一件、乾元丸は米商ウォルシュ・ホール商会より購入した蒸気船セントロイス号のこと
		細目4	(明治元年日次案)	慶応4年正月3日～明治元年12月29日					「澄水会」罨紙使用、明治元年における徳島藩の動向を記したもの
		細目5	(明治初年日次案)	慶応4年正月元日～明治3年12月3日					「澄水会」罨紙使用、蜂須賀茂韶の動向などを記したもの
92-3	〔旧藩記録類 丁〕						縦	1	「安宅御船諸事記」「安宅御用扣」を収める
93	世界の一めぐり						横半	1	第一から第六までであり、日仏の単語で地名を書いたもの、付箋多数
94	孝子伝			文化2年	天目源益之撰		縦	1	版本
95	痴人夢物語 一名渭城紀事(稲田騒動私記)			(明治3年)	南海狂夫		縦	1	『澄水会』罨紙使用、渭城とは徳島城のこと、「両使徳島へ下向之事」「洲本藩土奮激之事」「両使徳島発足之事」「両使西京へ上ル事」「両使東京へ帰着之事」「兼松角村帰藩之事」「九土脱帰途中之事」を収める
96	人国談(諸藩見聞録)				作州無隠居士		縦	1	甲寅(安政元年)秋より作州無隠居士が武者修行と称して各国の政情を探索したときの記事、「文久辛酉晩秋中旬 半酔居士識」の諸侯評判記(水戸藩士の論)を付す
97	呉服町翰塗師 水野与市扣			(天明・寛政)			縦	1	各種妙薬、信州浅間山騒動之事ほか書付
98	丑年家数男女人馬御改帳			(江戸)丑年	丹生郡中領 新保浦		縦	1	丹生郡新保浦は越前国福井藩領のうち、前後欠
99	勸化附留覚帳			文化6年己巳正月～弘化4丁未年9月			縦	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
100	天満宮御神忌御寄附帳			嘉永2年西年 9月	松本天満宮神主 牟禮大膳(印) 藤原邦昌(花 押)		縦	1	版本
101	(社領書上雛形)			(明治)			縦	1	
102	端山村旧事記			明治25年	武田浦三郎編		縦	1	「澄水会」罨紙使用、端山村は美馬郡のうちの東端山村・西端山村が明治22年に合併してできた村名
103	[船方記録]						縦	1	「澄水会」罨紙使用、「慶応元丑年安宅御役所川御舟但中潮懸預り御供方江渡置共心覚扣」「安政三辰年五月御上下之節大坂川御船組控」「嘉永元年申九月総御船皆具厚巾櫓立加子乗組共控」ほかを収める
104	[山林藪下札写根帳]	総目					縦	1	
		細目1	阿波国美馬郡曾江山村小笠兵太郎処有山林明細表	明治23年1月	武田覚三				
		細目2	第六号 山林藪下札写根帳	(明治4年)					表紙に「梶浦四方持参」と記される、下ヶ札多数
105	名東郡下八万村大字北沖浜村居住旧塩方手代河野栄次郎筆記写〔塩政関係書類〕			(正保2～天保7年)			縦	1	「澄水会」罨紙使用
106	[塩政ニ関スル記録]	総目					縦	1	
		細目1	(富田四組塩浜開立由緒ニ付覚)	(慶長～文化)					「岸本用紙」罨紙使用
		細目2	三原郡古津路村松帆塩田開創之図						包紙あり、上書に「三原郡古津路村塩田図面」とあり
	[塩政ニ関スル記録]	細目3	斎田塩御手捌一条	文久2年壬戌					「澄水会」罨紙使用
107	弘化集(弘化年間風聞集)						縦	1	「水戸殿御隠居家老歎願」「松平越前守教訓」「猪子兼三郎切腹」「所替村替」「松平越前守家来御答」「講釈師所弘」「阿部遠江守御答」「遊女ヲ殺」「敵討」「京大坂大火」「対州御手当地願」「朝鮮信使治定」「殺害人」「天草郡百姓騒立」「丹後変地」「石州変地」「学習所御取立」「加茂社人御答社説」「美濃若狭出水」「矢数」「御手伝」「金子掘出」「仙台海辺風波」「果状」「松平丹波守賞詞」「本多越中守書」「沼津大火」「浜松大火」「鈴木対馬守歌」「石郭掘出」「安積祐助御下条々」「巳年大火」「午年大火」「相撲上覧」「京出水」「御蔵米調」「仁和寺御歌」「異聞件々」を収める

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
108	嘉永集（嘉永年間風聞集）						縦	1	「酒井越中守系図」「十六羅漢」「享保十五年武鑑」「助御用番阿部伊勢守様江差出之」「鎌倉鶴岡八幡宮江遠足之者議定書写」「町方江被仰渡」「小金原御猪狩一件書附」「御預人神代徳次郎逃去於京都御召捕町奉行水野下総守様ニ而一通御吟味之次第」「水府江御成之節御庭御飾附扇間御座所御飾附」「御勘定奉行池田播磨守様江阿部播磨守様御家来御呼出御用人富田小源太を以別紙人相書相添御渡候書付」「悪党共召捕又者果候始末私出張ニ付先御届書」「出火焼失場所」「堀兵庫頭様御在所飯田町ニおゐて菱谷正介といふもの田中退仲といふ医師を兎の仇なりとて討留切腹致候同人書置之写」「大雷大雨」「迅雷後隊騒記」「芝泉岳寺ニテ開帳義士之人數間・壺宝目録」「狂歌」などを収める
109-1	文久紀事 九			文久元酉年	執筆 川村・落合		縦	1	小仏閣書番が集めた風説留、東善寺事件・対州露西亜船渡来一件ほか
109-2	文久紀事 十一			(文久2年)	執筆 落合直亮・小野崎中和・川村光毅・佐藤正雄		縦	1	小仏閣書番が集めた風説留、幕政改革・御役替ほか
110	京都秘書拾三箇条 全(諸侯宛勅諭写・天誅事件書付)			(文久)			縦	1	「京都秘書拾三箇条之事」「諸浪士乱暴留」を収める
111	南都七家諫義統書（大友義統諫言書写）						縦	1	「無師妙言陰務諫言卷三十九」、大友義統（永禄元年～慶長15年）は戦国・安土桃山時代の武将、大友宗麟の長男
112	台山隨筆 下				源清風著		縦	1	文末に「于時万延二辛酉年春如月上旬従文雅堂借之写成」とあり
113	明訓一班抄			(弘化)	源斉昭（花押）		縦	1	文頭に「此書作られし君ハ常水戸城主にて前中納言斉照君に渡らせられ御退隱の後建白ありし御文也 文久三癸亥四月五日 佐藤正雄写之」とあり、文末に「嘉永六子年神無月十一日写畢 落合氏蔵 文久三年癸亥四月三日小野崎氏所写之以一本令校合者也」とあり、小仏閣所番同士で回覧し筆写したもの
114	〔明治十六年御差出ノ大源院御履歴書〕	総目					縦	1	
		細目 1	(従二位勲三等蜂須賀茂韶履歴書控)	(明治16年)					「参事院」罨紙使用、文頭に「明治十六年四月御差出相成候扣」とあり、安政7年～明治17年まで記載、錯簡あり
		細目 2	(蜂須賀茂韶履歴書控)	(明治16年)					「外務省」罨紙使用、明治元年～16年まで記載
		細目 3	(銀盃拝受ニ付御届控)	明治16年 4月	(蜂須賀茂韶)	賞勲局御中			「太政官」罨紙使用
		細目 4	(内閣委員被仰付候ニ付辞令写)	明治16年 2月 13日	太政官	参事院議官蜂須賀茂韶			「蜂須賀」罨紙使用、西班牙皇帝より第一等イーサベラカトリック勲章受領のこと書付あり、綴からとれた状態で挟み込まれている
		細目 5	(大龍院様御系末御書継 公家譜稿)	(嘉永4年～明治元年)					大龍院は斉裕のこと
		細目 6	(富国強兵ニ付建白書)	(明治) 11月 念5日	臣大村純安				大村純安（嘉永3～明治3年）は洲本生まれ、明治元年に洲本学問所の文学教授、同3年稲田騒動の責任を取り切腹した人物
115	阿波国御政務日記抜書			(天正～天保)	武田浦三郎編		縦	1	「澄水会」罨紙使用、明治28年8月調、蜂須賀家が阿波国へ入国して以降の法令などを集めたもの

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
116	高田屋金兵衛処刑始末			(天保2～4年)	村尾元長編		縦	1	「蜂須賀」罨紙使用
117	[藤堂家々則・浪人其他身分制度]	総目					縦	1	
		細目1	藤堂家々則	明治23年2月	正三位勲三等藤堂高猷				「蜂須賀」罨紙使用、藤堂高紹が幼少のため作成したもの
		細目2	(諸士家来心得其外二付郡中達書)	(江戸)					「澄水会」罨紙使用
118	江戸町鑑			(天保・弘化)	森重遠		縦	1	「澄水会」罨紙使用、「右者旧幕府御小人目付小門高信ノ手扣ヲ借写ス天保・弘化ノ間ノ取調ニ係ルモノ也」と識語あり
119	土州流材談判一件			明治2巳年9月	山内時従		縦	1	「澄水会」罨紙使用
120	自明治四年至同六年 大蔵省租税寮改正局別纂名東県租税方法			明治4～6年			縦	1	「澄水会」罨紙使用
121	公廨其余諸雑費壹ヶ年分取調帳 〔公廨諸雑費一ヶ年分取調帖〕			(明治2年)			縦	1	版籍奉還後の諸務変革に関するもの
122	寺社領其外従前禄扶持等遣居候人員并高取調帳〔寺社領其外禄扶持人員高調帖〕			(明治2年)			縦	1	版籍奉還後の諸務変革に関するもの
123	洲本平年之指引〔淡路分平年之差引〕			(明治2年)			縦	1	版籍奉還後の諸務変革に関するもの
124	平年之指引〔阿波分平年之差引〕			(明治2年)			縦	1	版籍奉還後の諸務変革に関するもの
125	阿波淡路両国総高現米諸税諸産物取調帳〔阿波淡路諸産物取調帖〕			(明治2年)			縦	1	版籍奉還後の諸務変革に関するもの
126	[藍商・塩田沿革・阿波国産物年歴取調]	総目					縦	1	
		細目1	(藍商取締沿革概説・塩田沿革)	明治17年	(徳島県)				「貴族院」罨紙使用、「官報」掲載の「徳島県報告」を写したもの、「板野郡撫養塩場拾貳村并那賀名東二郡塩田製塩額」を付す
		細目2	煙草業有功者武右衛門ノ履歴						武右衛門は三好郡池田町の百姓
		細目3	(封筒)	(明治)28年2月10日(消印)	阿波国名東郡八万村 権野定愛	東京芝三田綱町 蜂須賀侯爵御邸内 澄水会御中			
		細目4	(藍碧沿革書類二付書簡)	(明治)4月4日	岸本生	小杉(小杉楯邸)ほか1名			
		細目5	阿波国産物年歴及税金高取調控	明治12年6月	保科正脩関・原田一平編成				「澄水会」罨紙使用、保科正脩(弘化3～明治12年)は徳島藩権大参事などを務めた人物

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
127	異国船渡来ニ付羽田大森辺海岸御固被為蒙ニ付御先御人数御行列付写			嘉永7年寅正月月中旬	竹澤氏		横	1	
128	[若殿様御部屋附日記]			(江戸)			横	1	虫損大
129	日々心覚帳(日常の贈答・交際ほか)			明治21年2月~12月	新		横	1	
130	[御書院初御道具帳](御書院・御座之間ほか床飾)			(江戸)			横	1	
131	[虫名・魚名]	総目		(江戸)			横	1	
		細目1	蟲部上下	(江戸)					
		細目2	魚名	(江戸)					
132-1	[蜂須賀家維新文書 一]	総目		(明治)			横	1	
		細目1	(御郭内出火之節即刻参内可有之旨達)	(明治元年)11月	行政官				「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち
		細目2	(調練場之事・市政御用御委任之事・白川戦争之事・駿河之事ほか覚書)	(明治元年)	行政官				「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち
		細目3	(御東下ニ付有志之面々江心付候義申上候様被仰付度旨建言)	(慶応4年)9月4日	位田平次郎				「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち
		細目4	親衛隊横浜出張名面	(明治元年)					「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち、壱番中隊・貳番中隊・筆算方の名前あり
		細目5	(槍術・古流馬術廢止其外ニ付覚書)	(明治元年)					「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち
		細目6	(武州豊島郡外四ヵ郡探索ニ付書付)	(慶応4年)8月	佐藤治部助				「巻紙継合ノ(七)」と書かれた中扉のうち
		細目7	(小判・壱歩判受取ニ付目録)	(明治4年)5月晦日	笹井(印文)				「雑件ノ(庚)」と書かれた中扉のうち
		細目8	(太政官日誌御前御用ニ付取計可被成旨書付)	(明治2年)正月27日	京都公御用人	御勤中様			「巻紙継合ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目9	(書籍名書付)						「巻紙継合ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目10	国府之台探索一条(脱走人探索ニ付)	(明治元年)9月9日					「巻紙継合ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目11	(内藤藤翁歎願書取扱方ニ付書状)	(明治元年)10月25日	前原彦太郎(一誠)	吉井幸輔(友実)様・阪田潔様			「巻紙継合ノ(三)」と書かれた中扉のうち、内藤藤翁は越後国村上藩7代藩主信思(信親)のこと
		細目12	(旧幕臣処置方ニ付建議案文)	(明治元年)	(蜂須賀)茂韶				「巻紙継合ノ(三)」と書かれた中扉のうち

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目13	(官吏任免ニ付書付)	(慶応4年) 8月4日~23日					「巻紙継合ノ(三)」と書かれた中扉のうち
		細目14	(壹万石廻米・八丁堀替屋敷・清水附人分配其外覚書)	(明治元年)					「巻紙継合ノ(三)」と書かれた中扉のうち
		細目15	(兵庫神戸辺御警衛ニ付請書控)	(慶応2年) 11月10日	御名(蜂須賀齊裕)				「巻紙継合ノ(三)」と書かれた中扉のうち
		細目16	(隆芳君より御運被成候御寄留之義ニ付書状)	(明治)4月 26日	日比野克巳	伊吹直亮様・武谷栄道様			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、蜂須賀隆芳(天保2年生まれ)は9代宗鎮の養子重隆から6代目の当主
		細目17	(戊辰期建白書原文取調ニ付書簡)	(明治)4月 16日	岡田鴨里	日比野克巳様			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、文末に大坂親政反対についての蜂須賀茂韶(カ)の建白書写あり
		細目18	(御送金之義ニ付書状)	(明治)					「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、後欠、細目22と接続するか
		細目19	(鉦山金策・公債証書・会社規則取調其外ニ付書状)	(明治)6月 26日	紅露篤親	小室先醒			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち
		細目20	(鉦山規則取調・公債証書買入其外ニ付書状)	(明治)6月 28日	紅露篤親	小室先醒			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち
		細目21	奉申上覚(御法事ニ付)	(明治)2月 13日					「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち
		細目22	(汽船ヲ抵当ニ金錢借入被下度旨其外ニ付書状)	(明治)10月 15日	紅露篤親	伊吹先生			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、前欠、細目18と接続するか
		細目23	(二位公閣下御帰朝奉迎ニ付書状)	(明治12年) 1月27日	西川甫	伊吹直亮様・森先雄先生			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、「二位公閣下」は蜂須賀茂韶のこと
		細目24	(貴宅伺井上氏協議済東洋社へ罷出度ニ付書状)	(明治)2月 5日					「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち
		細目25	(明後廿四日御光臨被下度ニ付書状)	(明治)3月 22日	岩倉家扶	蜂須賀様 御家扶中			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、封筒あり、封筒裏に「明治四年御改正 御歴代御祭資金之定則」と記される
		細目26	(八田家難渋ニ付歎願書)	明治12年3月 24日	八田より代理後見弟春日政之進	従二位蜂須賀茂韶殿 御掛り伊吹様			「雑件ノ(戊)」と書かれた中扉のうち、封筒あり、八田は蜂須賀家より御判物頂戴の由緒あり
132-2	[蜂須賀家維新文書 二]	総目		(明治)			横	1	
		細目1	(書籍書上)						「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目2	(書籍書上)						「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目3	(初学作文須用書札)						「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目4	(書籍書上)						「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目5	(御即位之大礼服制規式ニ付書付)	(慶応4年) 8月	行政官				「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目6	(大久保岩丸家督相続申達写)	明治元戊辰年 10月		大久保岩丸			「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、大久保岩丸は小田原藩 12代藩主大久保忠良のこと
		細目7	口上之覚(大久保岩丸家督被仰 付度ニ付歎願)	(明治元年) 10月朔日	小田原重臣 大 久保弥右衛門				「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、大久保岩丸は小田原藩 12代藩主大久保忠良のこと
		細目8	別封老(右之通廻達ニ付)	(明治3年) 午12月18日	弁官	徳島藩知事殿			「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目9	(各曜日の予定其外覚書)	(明治)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目10	(人名書上)	(明治)				6	「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、冒頭に「二月七日出 席」「二月十日出席」などあり
		細目11	十五日御次第書(郷中諸出家・ 郷土格嫡子其外御目見次第)	(明治カ)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目12	(御役者支配・御小道具方受持 方被仰付方ニ付書付)	(明治カ)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目13	申上覚(当日中見聞仕儀無御座 旨)	(明治元年) 辰7月29日～ 12月27日	梅岡循野助・森 脇長平・坂田吉 蔵・田村永助・ 坂田甚之丞・小 沢金助			11	「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、梅岡以下は伊賀役
		細目14	上(御目見願)	(明治カ)	坂隼之助				「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、坂家は代々江戸留守居 役を務める家柄
		細目15	申上覚(当日中見聞仕儀無御座 旨)	(明治元年) 辰7月29日～ 12月27日	梅岡循野助・□ □武十郎・坂田 吉蔵・坂田甚之 丞・小沢金助			7	「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、梅岡以下は伊賀役
		細目16	覚(革製鞍・舶来騎兵鞍其外武 具書上)	(明治カ)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目17	(太守様御召服極痛之分其外書 上)	(明治カ)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、「太守様」は蜂須賀茂 韶のこと
		細目18	(大太鼓・小太鼓其外楽器書 上)	(明治カ)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目19	(網代笠従衛隊へ御渡之旨佐波 勇之達)	(明治)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
		細目20	(袍・指貫・狩衣其外御召料書 上)	(明治)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち、「大龍院様」(蜂須賀 斉裕)の御召料も記される
		細目21	覚(元込銃・胴乱・三俣其外武 具書上)	(明治)					「巻紙断片ノ(二)」と書かれた中扉のうち
132-3	[蜂須賀家維新文書 三]	総目		(明治)			横	1	
		細目1	(関東一橋領・粕壁宿・越ヶ谷 宿其外風聞探索書)	(明治)					「巻紙継合ノ(五)」と書かれた中扉のうち

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目2	(松平確堂進退其外ニ付書状)	(慶応4年) 8月28日	吉隠(吉井信 発)	阿君(蜂須賀茂 韶)			「巻紙継合ノ(五)」と書かれた中扉のうち
		細目3	覚(鳩谷宿近在村々盜賊横行・ 代官手付風評ほか)	(慶応4年) 7月25日					「巻紙継合ノ(五)」と書かれた中扉のうち
		細目4	(人名書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目5	(稲田九郎兵衛家来林徹之丞徴 士被仰出書)	(明治)9月	行政官	蜂須賀中納言 (茂韶)			「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目6	(官吏任命・伊達慶邦追討書其 外書付)	(慶応4年) 7月28日～8 月16日					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目7	(盜賊・脱走人屯集其外ニ付風 聞書)	(慶応4年)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目8	(御発輦後の殿中御模様ニ付申 上書)	(明治2年)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目9	(浜殿行幸延引ニ付申入)	(明治元年) 11月14日	(坊城)俊政	御名(蜂須賀茂 韶)・東久世中 将殿			「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目10	(蒲原宿小宿ニ付供奉之面々合 宿有之度旨申入書)	(明治元年) 12月10日					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、天皇還幸にかかわるもの
		細目11	(徳丸村・西台村辺強盜罷越風 聞其外覚)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目12	(川股宿周辺で賊兵と戦闘ニ付 御届)	(慶応4年) 9月7日	蜂須賀阿波守内 小室利喜蔵				「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、分捕品・討死ほか覚とも
		細目13	(人名書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、冒頭に「七番」とあり
		細目14	(徳大寺へ文通之事ほか覚)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目15	(美濃紙・薄中折紙ほか書付)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目16	(人名書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、「四番」「一番」「三番」と記載あり
		細目17	(新嘗祭ニ付僧尼輕重服者参内 可憚旨達)	(明治元年) 11月					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目18	(岩村田之事・奥羽処置之事其 外覚書)	(明治元・2 年)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目19	(内藤志摩守其外人名書付)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目20	(別紙被仰出ニ付申入書写)	(明治)11月 14日	弁事役所	三条右大臣殿ほ か6名			「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目21	(東幸被仰出書写・西城登城ニ 付布告書写)	(慶応4年) 8月					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、東幸被仰出書は8月4日、布告書は8月12日

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目22	(内藤貞太郎其外10名書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目23	(旗本惣人数1076人詰割)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目24	(棟数・合宿人名書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち
		細目25	(徳島藩士43名禄高書上)	(明治)					「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、仁尾内膳(高千石)・蜂須賀隼人(高千三百石)ほか
		細目26	戊辰年中上田甚五右衛門諸願伺書(戊辰出張中勤方取調指出ニ付)	(慶応4年正月～明治元年11月)	上田甚五右衛門				「巻紙継合ノ(一)」と書かれた中扉のうち、上田甚五右衛門(女恭)は高300石、農兵大隊長、戊辰戦争期は親衛大隊長として京都警衛にあたり、奥州白河まで従軍する
		細目27	(賀茂下上社行幸来ル廿一日被仰出書)	(慶応4年)7月13日					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目28	(箱館表賊徒乱暴ニ付出兵御沙汰書)	(明治元年)11月	行政官	米沢藩			「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目29	(御用出兵之向々休泊之節米銭被下方相触ニ付達)	(慶応4年)辰7月	駅通司				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目30	(府内在住士民之無差別存付之儀可申出旨達)	(慶応4年)辰8月21日	判事				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目31	(相撲番付写)	(明治)					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目32	(築地居留地開門出入鑑札ニ付達)	(慶応4年)8月					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目33	(大龍院様御詠草五冊相廻ニ付書状)	(明治)9月7日	井上元真	正木文太郎様			「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち、大龍院様は蜂須賀齊裕のこと
		細目34	慶応戊辰年月並十八日(月並歌題)	(慶応4年)					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目35	(大久保利通帰京至極同意ニ付書状)	(慶応4年)9月6日	(三条)実美	阿黄門公(蜂須賀茂韶)			「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち、天皇東幸と関連するもの、大久保の帰京は9月13日
		細目36	(蘭ゼネラル出府諸番所御固其外ニ付書状写)	(慶応4年)7月	山口範蔵(尚芳)・寺島陶蔵(宗則)	井関齋右衛門(盛良)殿・中井弘蔵殿			「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち、山口は神奈川県在勤、寺島・井関は神奈川県判事、中井は神奈川県判事助勤、明石町詰判事から大総督府下参謀宛書状や大総督府下参謀から所々警衛中に宛てた書状も含む
		細目37	(徳川慶喜駿府宝台院転移ニ付達写)	(慶応4年)7月(14日)	(鎮台府)				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目38	(金札通用其外ニ付行政官布告写)	(明治元年)9月～10月	行政官				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目39	(還御御治定ニ付布告写)	(明治元年)12月(朔日)	行政官				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目40	(東幸中外国事務取扱其外ニ付布告)	(明治元年)9月(20日)～10月15日	行政官				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目41	(米沢藩出兵御沙汰止ニ付達)	(明治元年) 11日	行政官				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目42	大総督府より下賜御慰勞御書付写(吉井藩勇戦満足ニ思召旨)	(慶応4年) 辰5月	(大総督府)				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目43	感状写(吉井藩伊東長三郎斥候之節戦死ニ付)	(慶応4年) 戊辰5月	東山道総督府巡察使				「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目44	(信州岩村田其外出兵ニ付書付)	(慶応4年) 3月～9月					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目45	(今般浮浪脱走之者軍艦乗組企有之ニ付出張可致旨達)	(慶応4年) 7月21日		阿州藩			「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目46	(西之御丸御書院廻学校被仰付候御入用其外費目書付)	(明治)					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目47	(人名書上)	(明治)2月 22日～3月2日					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち、赤川藤五郎其外21名
		細目48	(人名書上)	(明治)2月 12日～20日					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち、細目47で書き漏れた人名、北代勘次郎其外6名
		細目49	(ウルSNSナイテル銃代金覚)	(明治)					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目50	(御徒土・御料理方・御土蔵番御免人数覚)	(明治)					「巻紙継合ノ(六)」と書かれた中扉のうち
		細目51	(拝顔願度処明日西城登城旨書簡)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目52	(井上兵馬進退之儀ニ付書状)	(明治元年) 10月25日	日比野六太夫				「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目53	(聖堂往復道筋書付)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目54	(武州千住知県事桑山圭助名札)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目55	御順道(御陣営より白金御屋敷への道順)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目56	(条約書・御艦買入・英人雇方・蝦夷地取扱其外覚書)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目57	能組	(明治)8月 11日					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目58	(加茂行幸ニ付書付)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目59	御道筋(海禅寺への道順)	(明治)					「巻紙継合ノ(四)」と書かれた中扉のうち
		細目60	(当社第六統計配分の件ニ付書簡)	(明治)10年 11月12日	有隣会社	伊吹直亮様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、「有隣会社」罫紙使用

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目61	(些少故御配分ニ付断簡)	(明治) 6月29日	紅露篤親	林様・井上様・伊吹様・森様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、前欠、細目63と接合
		細目62	(英国留学中ニ付井上・林へ禄券利子受取其外委任状)	明治11年	東京第一大区十三小区浜町壹丁目壹番地華族当時英国倫敦在留 蜂須賀茂韶				「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、茂韶は明治5年1月～12年1月まで英国留学
		細目63	(開拓使約定期品私下受渡ニ付書簡)	(明治)	(紅露篤親)	林様・井上様・伊吹様・森様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、後欠、細目61と接合
		細目64	(御来書之面唯今迄延引遺憾ニ付書簡)	(明治) 8月28日	古澤滋	伊吹様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち
		細目65	(年頭御礼)	(明治) 1月1日	保科正脩	伊吹直亮様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、保科正脩は版籍奉還後、徳島藩の公議人をつとめた人物
		細目66	(年頭御礼)	(明治) 1月1日	保科正脩	林厚徳様・伊吹直亮様・森先雄様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち、保科正脩は版籍奉還後、徳島藩の公議人をつとめた人物
		細目67	明治十年分一月ヨリ十二月迄御払出シ総計(定式・電話・不時・学費費用案文)	(明治10年)					「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち
		細目68	(明日善次郎へ御紙面拝見為致可申件ニ付書簡)	(明治) 10月21日	松下一郎右衛門	稲井様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち
		細目69	(蜂須賀家よりの拝借金返済猶予願)	(明治) 12月26日	古澤滋	森先雄様			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち
		細目70	(有隣会社ヲ廢シ徳島第八十九銀行へ合併ニ付委任状案文)	(明治)		井上高格殿			「雑件ノ(丙)巻紙ノモノ」と書かれた中扉のうち
132-4	[蜂須賀家維新文書 四]	総目					横	1	
		細目1	(東京ニ於修業ニ付供連其外覚)	(明治)					洋学修業のため築地外国館東伏見宮塾跡へ入塾のこと、九州辺四・五人同所にて遊歴のこと、経済学修業のこと、民政下吏となり下情視察のことなどが書かれる
		細目2	(風聞覚)	(幕末)					井伊直弼首級ニ付、鳥居耀蔵の剣術師匠井上伝兵衛打果ニ付ほか
		細目3	(將軍進發・入京参内ニ付攘夷方針・長州処分其外勅答秘事)	慶応元年(閏5月22日)					
		細目4	(還幸ニ付東海道筋里程書付)	(明治元年)					
		細目5	(岡崎駅被災者救助仰渡ニ付申入書)	(明治元年) 12月16日	弁事	阿波中納言(茂韶)殿			
		細目6	還幸御道筋(西丸大手より御順路)	(明治元年)					
		細目7	(東北平定ニ付還幸ノ上褒賞之典可被為挙旨布告)	(明治元年) 12月(12日)	行政官				
132-5	[蜂須賀家維新文書 五]	総目		(江戸)			横	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目1	(懷石献立覚)	(江戸)					
		細目2	(御茶進上申度御来臨被下度旨書状)	(江戸) 3月15日	内田豊	下郷次郎八様			
		細目3	四月廿四日佐枝様之節道具附	(江戸) 4月24日					
		細目4	天保十亥とし十一月末の六日於碗流軒(茶会記)	天保10年11月26日					
		細目5	四月廿六日正午於結侶御数寄屋(茶会記)	(江戸) 4月26日					
		細目6	利休居士二百五十年忌追善茶事	(天保11年) 10月6日					『利休大事典』689頁に追善茶会記が掲載される
		細目7	(駿河台御屋敷茶会記)	(江戸) 11月15日					
		細目8	堀内長生庵利休居士記	(天保11年) 10月3日					
		細目9	(三嶋桶御茶碗覚書)	(江戸)					三嶋桶御茶碗に添えられた三斎宗立つの書状写(7月25日附)記載される
		細目10	岡谷惣助殿於隠寮(茶会記)	(江戸) 丑正月14日					
		細目11	於歡樂庵(茶会記)	(江戸) 12月9日					
		細目12	慶応三丁卯十一月四日正午永井士前茶事	慶応3年11月4日					
		細目13	(茶会記)						
		細目14	(茶会記)						
		細目15	(茶会記)	(江戸) 11月22日~12月5日					場所は永井・石雲亭ほか
		細目16	(茶会記)	(江戸) 3月2日~3月12日					会主は永井・橋本・本望雪林とあり
		細目17	(茶会記)	(江戸)					
		細目19	(懷石献立覚)	(江戸)					絵図あり
		細目20	霜月廿六日於歡樂庵御茶事	(江戸) 11月26日					
		細目21	(不審庵茶会記)	(江戸) 11月26日					

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目22	(一疊半茶会記)	(江戸)					
		細目23	三月廿八日正午和席庵会席道具附	(江戸) 3月28日					
		細目24	(懐石献立ほか覚)	(江戸)					
		細目25	長生庵還曆茶事	(江戸)					
		細目26	(茶会記)	(江戸) 10月24日・10月朔日					場所は不審庵・長生庵と記載あり
		細目27	(吉田御殿鈴鹿豊後守殿立寄之節懐石献立覚)	(江戸) 正月27日					場所は不審庵・長生庵と記載あり
		細目28	(本所辺御屋舗茶会記)	(江戸) 12月10日					
		細目29	(兵庫様御成之節饗応之始末ニ付書付)	(江戸)	福島屋次右衛門	古手屋六郎右衛門			
		細目30	(茶会記)	(江戸) 申10月20日					
		細目31	(茶会記)	(江戸)					
		細目32	(不審庵茶会記)	(江戸) 10月17日					
		細目33	晩春十日正午順会(六喫園茶会記)	(江戸)					
		細目34	木林山懐石道具附	天保6年10月13日					
		細目35	利休居士年忌追悼口切茶事	(江戸) 10月7日					千宗室老方祖堂における年忌茶事
		細目36	(茶会礼状)	(江戸) 3月23日	武兵衛	次郎八様			
		細目37	(茶会記)	(江戸)					
		細目38	(看松軒茶会記)	天保14甲辰年正月13日					
		細目39	(茶会記)	(江戸) 正月20日					
		細目40	会席附	(江戸) 9月末之頃					
		細目41	茶之湯式(主方・客方の作法などを記す覚書)	(江戸)					

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目42	去巳八月十日志州英虞郡立神村ニ而繼母小りんを及打擲候藤三郎逃去其後小りん相果候ニ付右藤三郎人相書	(江戸)					
		細目43	吸江斎茶事	天保13壬寅4月16日					道安座敷における茶会記
		細目44	(妙法院茶会記)	(江戸) 9月11日					
		細目45	(茶会記)	(江戸) 正月20日					
		細目46	会席	(江戸)					
		細目47	長次郎貳百五十回忌ニ付於松之下田中様御茶事	(天保10年) 10月8日					奥から綴ったため冒頭が反対になる、長次郎は安土・桃山時代の樂焼の祖、寛政元年が200回忌
		細目48	道具覚	(江戸)					
133-1	[蜂須賀史料 一]	総目		(幕末・明治)			横	1	
		細目1	(蜂須賀隆芳家禄返還・民籍入籍ニ付上書)	(明治4年) 辛未5月	蜂須賀隆芳				蜂須賀隆芳は連枝家(9代宗鎮の嗣子重隆の子を初代とする一門家)の6代目、明治4年に藩士となる
		細目2	(官制改革ニ付意見可申出旨布告)	(明治2年) 6月(23日)					版本、職員令(明治2年7月8日制定)に関わるもの
		細目3	(松平余四麿従五位下侍従推任叙書付写)	(文久3年) 8月16日	野々宮殿(野宮定功)	松平余四麿			松平余四麿(昭訓)は徳川齊昭14男
		細目4	後醍醐陵鳴動之御届	(文久2年) 11月3日	戸田和二郎				後醍醐天皇陵の鳴動は文久2年10月18日のこと、戸田和二郎は山稜奉行・宇都宮藩家老
		細目5	御辞官御達(將軍家茂官位一等辞退ニ付書付写ほか)	(文久2年) 12月					
		細目6	(武田耕雲斎の件・姫路侯御上洛御留守居・赤穂斬奸其外ニ付書状)	(文久2年) 12月17日					
		細目7	日本橋へ指出候捨札之写(塙次郎天誅趣意書)	(文久2年) 12月21日					端裏書「塙次郎之捨札」、塙次郎は伊藤博文に暗殺される
		細目8	(天誅貼紙)	(文久)	天誅奉行一列				端裏書「臘末之貼紙」
		細目9	(薩長へ内々被仰含之破約攘夷の件写取ニ付書付)	(文久2年) 27日					虫損大
		細目10	(大坂より京迄之道程)	(文久)					端裏書「大坂より京江捷徑」
		細目11	(土御門天皇陵与申伝候場所ニ付集議言上書)	(文久)					

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目12	(職員令官吏一覽)	(明治2年7月8日)					
		細目13	(山内容堂七言絶句・和歌・彦藩加藤吉太夫辞世)	(文久)					
		細目14	興源寺江集候名面(国元出立出府之徳島藩正義士)	(文久)正月4日					端裏書「正義士 御国出立之聞取」
		細目15	正月十日朝綾小路寺町角子州宇和島旅館之前ニ建札(上京以後因循ニ付討入之旨)	(文久3年)亥正月10日					端裏書「宇和島之不評」
		細目16	(黒川嘉兵衛・真木和泉頼末其外ニ付書付)	(文久3年)正月11日					端裏書「久留米藩戸田健太郎の話 正月十一日」
		細目17	(池内大学梟首捨札写)	(文久3年)亥正月24日					端裏書「池内大学梟首捨札之写 正月廿四日聞取」
		細目18	(太政官参仕無遅滞已刻出仕可有事達)	(明治)3月					端裏書「制度寮より廻来」
		細目19	(佐竹右京大夫上京被遊度旨御沙汰ニ付達写)	(文久2年)12月18日	宇都宮帯刀				端裏書「佐竹家へ御沙汰書」
		細目20	十二月十八日朝蛤御門ニ張紙(因循姑息な高貴御方取計ニ付)	(文久2年)12月	愛国誠忠者				端裏書「蛤御門張紙」
		細目21	(京都風聞書)	(文久3年)					端裏書「二月十八十九之聞取書」、虫損大、諸侯評判・幕閣の天誅・青蓮院宮の噂・紀州藩の動向・醍醐様の話などの風聞が収められる
		細目22	島津三郎殿学習院江上書(領海警備ニ付帰国願写)	(文久3年)3月17日	(島津久光)				
		細目23	(行幸後上京・還幸後誓約済の諸侯帰国ニ付布告写)	(慶応4年)閏4月18日					裏に「一札」とあり
		細目24	御月番より御達(井伊掃部頭追罰・十万石召上ニ付)	(文久2年)11月21日					
		細目25	(京都警衛其外ニ付久留米藩宛内勅写)	(文久2年)10月・11月					
		細目26	(一橋公外諸侯上京ニ付聞取書)	(文久2年)12月21日					端裏書「十二月廿一日聞取書」
		細目27	(勅諭遵奉之台命其外ニ付岡山藩士土肥典膳聞取書)	(文久2年)12月20日					端裏書「十二月 台命并有司より之申上書」
		細目28	(將軍上洛・佐賀老公其外ニ付聞取書)	(文久2年)12月20日					端裏書「十二月廿日 近事聞取書」
		細目29	(尾州公御発駕・諸浪人有志取立其外ニ付聞取書)	(文久2年)12月					端裏書「十二月廿八九日 聞取書」

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目30	(中川宮江中山侍従忍入召捕其外京都殺氣充滿ニ付聞取書)	(文久2年)					裏に「証文 久藏金請取書」
		細目31	(因州藩中沖探三其外名前書付)	(幕末)					
		細目32	(禁闕守衛士貢獻ニ付坊城殿御達写)	(文久3年)					
		細目33	(中山前侍従亡命幕府疑惑ニ付聞取書)	(文久3年)					文末に「右者過日奉言上候一条間違御座候而奉恐入候改写仕奉指上候」とあり
		細目34	(当年月の大小謡曲覚)	(文久3年)					
		細目35	(將軍家茂撰海巡視其外ニ付聞取書)	(文久3年)					
		細目36	(賀川肇天誅ニ付罪状)	(文久3年) 正月					端裏書「賀川肇之罪状」、賀川肇は文久3年正月28日に暗殺される
		細目37	(井伊家官位辞退ニ付願書)	(文久3年) 正月	井伊掃部頭(直憲)				端裏書「井伊家御辞退之願書」
		細目38	在館唐人江張氏より差送書翰和解(去年騒動以来飢渴ニ付長崎へ罷越度旨)	大清同治元年(文久2年) 歳次春正月	薄命婦張氏				
		細目39	(官吏誅伐遅緩ならば可加天誅旨書付写)	(文久3年) 亥4月17日					
		細目40	(諸藩外国船を雇用し開港場以外ニ運輸する旨禁止ニ付和歌山藩廻達)	(明治2年) 6月	行政官				和歌山藩よりの廻達は7月朔日
133-2	[蜂須賀史料 二]	総目		(幕末・明治)			横	1	
		細目1	(諸浪士有志之士召抱其外聞取書)	(文久3年)					端裏書「正月三四日聞取書」
		細目2	(尾老公入京評判其外ニ付聞取書)	(文久3年) 正月12日					端裏書「正月十二日聞取書」
		細目3	(肥前老侯出府被成公方様文武稽古世話役仰付其外聞取書)	(文久3年)					端裏書「正月十六七日之聞取書」
		細目4	(加州侯の持論其外聞取書)	(文久3年)					端裏書「正月廿一日之聞取書」
		細目5	(稲葉兵部少輔上京其外聞取書)	(文久3年)					端裏書「正月廿一日之聞取書」
		細目6	(浪士動静其外聞取書)	(文久3年) 正月22日					端裏書「正月廿二三日之聞取書」
		細目7	(諸侯上京其外聞取書)	(文久3年) 正月25日					端裏書「正月廿五六日之聞取書」

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目8	逆賊足利十五代(足利木像梟首ニ付高札写)	亥(文久3年)2月23日					
		細目9	(蜂須賀家中名前覚)	(幕末)					
		細目10	(攘夷論其外聞取書)	(文久3年)2月4日					端裏書「攘夷ニ関係之条々 二月四日聞取」
		細目11	(水府宛被仰出書写)	(文久3年)3月22日～24日					端裏書「水府江被仰出数条」
		細目12	(足利木像梟首事件其外聞取書)	(文久3年)3月6日～9日					綴からはがれた状態
		細目13	(將軍滯京其外聞取書)	(文久3年)3月16日～20日					端裏書「三月十九廿日聞取」
		細目14	乍恐謹承献言(上様へ御守献上ニ付)	(文久3年)3月23日	雪庵	上			
		細目15	官廻(池田中納言より回達の行政官布告)	(明治2年)3月・4月	行政官				
		細目16	寸忱(銅山開発・銅汁防ぎ方ニ付建議)	(明治)4月	臣某				
		細目17	三条大橋制札場ニ張紙有之(断簡)	4月17日					端裏書「四月十七日三条ニ張紙」
		細目18	去ル四日青山駒場江被為成候節行軍御供廻奉拝罷出候ニ付荒増書取御覽入候(長州再征ニ付歩兵調練荒増書付)	(慶応元年)					
		細目19	(天誅事件其外風聞書)	(文久3年)					禁裏御医師安藤岩見介召捕一件・家里新太郎天誅・姉小路
		細目20	(土風刷新其外ニ付建議)	(明治元年)	岡田周輔				
		細目21	(摂海警備ニ付建白扣)	(文久3年)5月6日	御(蜂須賀斉裕)				端裏書「天朝 幕府江御建白扣 五月六日」
		細目22	(第二次長州戦争幕府軍宿陣其外ニ付書付)	(慶応2年)					
		細目23	仏国新聞紙・翻訳方策作秋坪より其父阮甫江差越候書写・松木弘安書状之別紙(条約締結のため仏国軍艦差向其外ニ付)	(文久2年)閏8月2日					端裏書「仏国新聞紙 策作秋坪・松木弘安書状写」
		細目24	(堺町御門御固御免・国元海防尽力ニ付書状)	(文久3年)8月	長門宰相内益田右衛門介				

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
		細目25	(松平容保建白書堀町御門御固御免・国元海防尽力ニ付書状)	(文久2年) 9月(17日)					端裏書「会津侯存寄書」、攘夷奉承・摂津和泉両国開港拒絶・御殿山公使館建設中止ニ付
		細目26	(勅使下向御供の平野屋重三郎他天誅ニ付書付写)	(文久2年) 戊10月					冒頭に「十月十一日朝 二条河原にさらし候者 相国寺門前平野屋重三郎 鞍馬口せんへいや半兵衛」とあり
		細目27	(東京詰銃卒人数増ニ付書状)	(明治) 11月11日	星合常恕(花押)	蜂須賀協様ほか3名			端裏書「十一月十一日癸廿六日着星合より大参事へ」
		細目28	(服制表集議院へ御渡ニ付別紙)	(明治) 11月11日	(星合常恕)				細目27の別紙、「二印 十一月十一日出別啓議案ニ添」とあり
		細目29	(西国筋異変ニ付浪華張紙写)	(幕末) 12月13日					
		細目30	(薩長土藩内情其外ニ付聞取書)	(文久2年) 12月15日					端裏書「十二月十四日之聞取」
		細目31	集会名面(四国諸藩士集会人名書付)	(明治)					土州・高松・丸亀・多度津・松山・大洲・今治・吉田・西条・小松出身者の名前あり
		細目32	(政権奉還後の内政外交方針ニ付津藩主上書写)	(慶応3年)					端裏書「津藩主上書之写」
		細目33	(海外各国と和親条約締結ニ付上下一致すべき旨書付)	(慶応4年正月15日)					
		細目34	(幕府嫌疑其外ニ付草莽人の風説聞取書)	(慶応4年正月15日)					住江甚兵衛・轟武兵衛・藤井良節の評判、一橋公と因州公の関係など
		細目35	(足利木像梟首仕候者救済ニ付建白書)	(文久3年)	稲田九郎兵衛家来 三田昂馬・小林道郎・林轍之丞	(学習院)			端裏書「稲田九郎兵衛家来之建白」
		細目36	(御座所警衛仕度旨及び三条殿復職ニ付願書写)	(文久3年)					
134	(航海日記草稿)			明治15年12月～16年5月13日	(蜂須賀隨子)		縦	1	134～139の包紙とも、包紙上書「蜂須賀枢密顧問館殿」、蜂須賀茂韶は明治15年12月に特命全権公使・フランス駐劄を命じ、夫人の隨子同伴で渡仏する。隨子は徳川(水戸)慶篤の長女
135	(渡仏中日記草稿)			(明治) 16年5月14日～12月13日	(蜂須賀隨子)		縦	1	掛紙・押紙などあり
136	(滞仏中日記草稿)			(明治) 17年1月1日～12月25日	(蜂須賀隨子)		縦	1	掛紙あり
137	(滞仏中日記草稿)			(明治) 18年1月1日～12月28日	(蜂須賀隨子)		縦	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
138	(滯仏中日記草稿)			(明治)19年 1月1日～7 月23日	(蜂須賀隨子)		縦	1	
139	(帰朝日記草稿)			(明治)19年 7月24日～9 月22日	より子(蜂須賀 隨子)		縦	1	
140-1	(包紙)						包紙	1	141-2～140-29-9の包紙・紐とも、包紙上書「大太守様御代之節仰出され御書附」
140-2	上(松平大和守家来其外諸侯伺書写)			(慶応3)卯 年	定五郎		状	1	包紙とも、包紙上書「上 江戸知言上 速水勘右衛門・根本熊次郎」、140-2～140-10をくくっていた紐とも、松平大和守上総国富津御備物御用ニ付大小砲調練其外稽古為致度伺、土井大炊頭領分悪徒横行ニ付公事方御勘定奉行へ伺ほか
140-3	口演(御用向正直ニ御勤可被成候様御奉行様御申聞ニ付)				水呑百姓共	御奉行様	状	1	
140-4	(長良川鶴飼之事其外書付)						状	1	
140-5	申上覚(麻植郡宮島村住亀太郎一件其外領内風聞申上)			(慶応3年) 卯9月23日	坂田吉蔵・一坂 周作		状	1	包紙2点とも、包紙1上書「上 坂田吉蔵・一坂周作」、包紙2上書「上 洋造」
140-6	申上覚(平間亀太所行不宜ニ付申上)			(慶応3年) 卯	坂田吉蔵・一坂 周作		状	1	包紙とも、包紙上書「上 坂田吉蔵・一坂周作」
140-7	(松平肥後守家臣其外諸侯届書写)			(慶応3年) 8月	定五郎		状	1	包紙とも、包紙上書「上 江戸知言上 速水勘右衛門・根本熊次郎」、松平肥後守内手代木直右衛門願書、松平安芸守内梶川銀次郎届書、菅沼左近将監仏国留学ニ付届書ほか
140-8	(小目金相場書付)			(幕末)8月 2日			状	1	
140-9	(米相場書付)			(幕末)8月 2日			状	1	
140-10	(米金相場ニ付書状)			(幕末)8月 2日	四宮与兵衛(花 押)	安島覚兵衛・井 出左内148	状	1	140-8・140-9と関連
140-11	申上覚(婦女子縮緬着用之者多ニ付)			(幕末)8月 2日	四宮与兵衛(花 押)	安島覚兵衛・井 出左内148	状	1	包紙とも、包紙上書「上 大木武十郎」、140-11～140-22をくくっていた紐とも
140-12	申上覚(当月中見聞仕儀無御座旨)			(慶応3年) 卯8月晦日	坂田吉蔵		状	1	包紙とも、包紙上書「上 坂田吉蔵」
140-13	申上覚(当月中見聞仕儀無御座旨)			(慶応3年) 卯8月30日	坂田甚之丞		状	1	包紙とも、包紙上書「上 坂田甚之丞」
140-14	申上覚(物価高値人々難渋ニ付)			(慶応3年) 卯8月晦日	小沢金助		状	1	包紙とも、包紙上書「上 小沢金助」
140-15	申上覚(当月中見聞仕儀無御座旨)			(慶応3年) 卯8月晦日	森脇長三郎		状	1	包紙とも、包紙上書「上 森脇長三郎」

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
140-16	申上覚（土州聞合之儀ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	田村栄助		状	1	包紙とも、包紙上書「上 田村栄助」
140-17	申上覚（新町橋普請仮り橋往来 繁多ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	梅岡循之助		状	1	包紙とも、包紙上書「上 梅岡循之助」
140-18	申上覚（御家中風儀・平間亀太 一件ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	一坂周作		状	1	包紙とも、包紙上書「上 一坂周作」
140-19	申上覚（御山下処々渡場舟乗合 ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	杉野由喜次		状	1	包紙とも、包紙上書「上 杉野由喜次」
140-20	申上覚（御山下処々渡場舟乗合 ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	杉野由喜次		状	1	包紙とも、包紙上書「上 杉野由喜次」、158と同じ内容
140-21	申上覚（新町橋普請仮り橋往来 繁多ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	梅岡循之助		状	1	包紙とも、包紙上書「上 梅岡循之助」、140-17と同じ内容
140-22	申上覚（岡山久米蔵頼末ニ付）			（慶応3年） 卯8月晦日	大木武十郎		状	1	包紙とも、包紙上書「上 大木武十郎」
140-23-1	（道中記）			10月10日～13 日			状	1	140-23-1～140-23-3をくくっていた紐とも、包紙とも、包紙上書「御 日記替り御書付」、金谷から浜松まで、蜂須賀家当主の帰国道中記か
140-23-2	（道中記）			（10月）14日 ～18日			状	1	包紙とも、包紙上書「御国許へ被返候留記替り御書付」、荒井から桑 名まで、蜂須賀家当主の帰国道中記か
140-23-3	（道中記）			（10月）19日 ～23日			状	1	包紙とも、包紙上書「御国許へ被返候御日記替り御書附」、鈴鹿から 大坂まで、蜂須賀家当主の帰国道中記か
140-24-1	（京都大火・内裏炎上ニ付書 状）			（嘉永7年） 4月6日	西尾源右衛門	三矢茂兎藏様・ 森国之介様	状	1	140-24-1～140-24-11をくくっていた紐とも、端裏書「老印 西尾源 右衛門言上写」、西尾源右衛門（吉敏、300石）は京都御留守居役
140-24-2	（内裏炎上の原因ニ付書状）			（嘉永7年） 4月10日	西尾源右衛門	三矢茂兎藏様・ 森国之介様	状	1	端裏書「弍印 西尾源右衛門言上写」
140-24-3	（内裏炎上ニ付別啓）			（嘉永7年） 4月6日	（西尾源右衛 門）		状	1	端裏書「老印ニ添」
140-24-4	（内裏炎上・主上御立退ほかニ 付書状）			（嘉永7年） 4月17日	西尾源右衛門	三矢茂兎藏様・ 森国之介様	状	1	端裏書「五印 西尾源右衛門言上写」
140-24-5	御請（聖護院仮皇居・御座所其 外ニ付）			（嘉永7年）	（西尾）源右衛 門		状	1	端裏書「五印 源右衛門言上ニ添」、炎上の節御局方はじめ立ち退き の様態などが書かれる
140-24-6	御進献物（内裏炎上ニ付諸大名 進献物書付）			（嘉永7年）	（西尾源右衛 門）		状	1	端裏書「源右衛門言上 五印ニ添」
140-24-7	四月六日焼失之覚（町数・惣家 数・武家屋敷其外）			（嘉永7年）	（西尾源右衛 門）		状	1	端裏書「源右衛門言上 五印ニ添」
140-24-8	禁裏炎上ニ付御固メ（井伊掃部 頭様其外諸侯御固書付）			（嘉永7年）	（西尾源右衛 門）		状	1	端裏書「源右衛門言上 五印ニ添」
140-24-9	（内裏炎上・御立退其外ニ付書 状）			（嘉永7年） 4月8日	西尾源右衛門	三矢茂兎藏様・ 森国之介様	状	1	端裏書「四印 西尾源右衛門言上写」

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
140-24-10	御類焼御方々（朝廷御類焼御方々書付）			（嘉永7年）	（西尾源右衛門）		状	1	端裏書「源右衛門言上 五印ニ添」
140-24-11	（内裏炎上・主上始御立退其外ニ付書状）			（嘉永7年） 4月7日	西尾源右衛門		状	1	端裏書「三印 西尾源右衛門言上写」
140-25	阿波守様御続書（蜂須賀齊裕御続書）			（嘉永5年）			状	1	包紙とも、包紙上書「御続書 嘉永五子年閏二月廿日 大名小路より来ル」
140-26	覚（御勝手方不如意ニ付家中式歩半之歩掛ニ而召上）			11月19日			状	1	端裏書「御国許御触之写」
140-27	（御国用窮迫ニ付）			（幕末）			状	1	端裏に掛紙あり、「御前様江指上候様 奥懸御目付けへ」
140-28	（国許遺作ニ付諸士心得方御渡書付）			（幕末）			状	1	端裏書「頭取共始江」
140-29-1	覚（御勝手向不如意ニ付三ヶ年間式歩半之歩懸り召上之旨）			12月15日			状	1	140-29-1～140-29-9の包紙とも、端裏書「江戸ニ而本々江相渡候書付写」
140-29-2	京都より之来状（当地地震御所向模様ニ付書状写）			（安政元年） 6月15日	脇坂淡路守	六人様当	状	1	端裏書「安政元寅ノ年」
140-29-3	（会津其外残賊追討ニ付御沙汰書写）			（慶応4年） 閏4月5日			状	1	140-29-3～140-29-9を括っていたひもとも
140-29-4	（禁裏御所不残炎上ニ付書状）			（嘉永7年） 4月6日	西尾源右衛門	星野小平太様・片山御酒様・伊東七郎兵衛様	状	1	
140-29-5	咄乃おほえ（勝手向不如意ニ付）			（幕末）			綴	1	
140-29-6	（勝手向不如意ニ付書付）			（幕末）			綴	1	端裏書「当職より自筆達写」
140-29-7	（包紙）			卯月14日			包紙	1	140-29-8・140-29-9の包紙
140-29-8	（京都市中類焼範圍書付）			（嘉永7年）			状	1	
140-29-9	御類焼御方々（堂上方屋敷・大名屋敷・町屋ほか）			（嘉永7年）			状	1	
141	借用申金子之事			明治2年巳2月	岡本善太夫（印）	橋本三十郎様	状	1	端裏書「巳七月中 老両式分 岡善」
142	借用申金子之事			明治2年巳2月	岡本善太夫（印）	橋本三十郎様・吉田喜十郎様	状	1	端裏書「巳七月中 四両 岡善」
143	（明日礼服用参朝可有旨達）			（明治）12月17日	出張弁官	若江従四位殿	状	1	
144	演説之覚（仙洞御所御造営御用画被仰付度旨）			寛政元年9月	長州画士雪舟九世 雲谷法橋等村（印）	中山前大納言様 御内 御家来中	状	1	包紙とも、包紙上書「長州画士雪舟九世 雲谷法橋等村筆蹟」
145-1	（ひも）						ひも	1	145-2～145-35を括っていたひも、「藩侯関係（公私）」と書かれた付札あり

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
145-2	(当年不例大荒・不作にて世中騒敷ニ付書状)			菊月23日	為一	内場是介老親	状	1	
145-3-1	(包紙)						包紙	1	145-3-2～145-3-4の包紙、包紙上書「平松少納言殿 時方」
145-3-2	(下官上京早々相違候様頼入ニ付書状)			臘月23日	時方	少納言殿	状	1	
145-3-3	(両伝江之口上書取扱方ニ付書状)			12月22日	時方	少納言殿	状	1	
145-3-4	(秋院崩御之事ニ付書状)						状	1	
145-4-1	(包紙)			安政3年			包紙	1	145-4-2・145-4-3の包紙、包紙上書「安政三年八月四日 御当職御辞退聞召右ニ付禁裏より御拝領物御書付入」(鷹司政通の関白辞職に関するもの)
145-4-2	御拝領物(鷹司政通関白辞職ニ付)			(安政3年)			状	1	鷹司政通は蜂須賀齊裕の正室標子(ひでこ)の父
145-4-3	十二月名所御屏風和歌			(安政3年)			状	1	鷹司政通拝領物
145-5	新統古今集 雑中(前中納言雅孝和歌)				雅久		状	1	
145-6	歳暮雪(和歌書付)						状	1	
145-7	(閑居鶯ほか和歌書付)						状	2	
145-8	(引越被成候御都合其外ニ付書状案文)			7月12日			状	1	
145-9	(稲田家月費受領ニ付書状)			(明治43年)3月30日	稲田家理事 尾方長栄(印)	蜂須賀家 御家扶御中	状	1	
145-10	(銀行局問合之暗号ニ付書状)			2月5日	能村	福井様	状	1	
145-11	(御遺物処分之件ニ付書状)			11月11日	伊藤重次郎	稲井永敏様	状	1	
145-12	(和当さん其外ニ付書状)					福林隠居との	状	1	
145-13	(氷繁村神主社倉之儀ニ付書状)			12月19日	八田喜兵衛	小林内蔵太様	状	1	包紙とも
145-14-1	(包紙)						包紙	1	145-14-2・145-14-3の包紙、包紙上書「覚書の事」
145-14-2	(奥御道具類書付)						状	1	
145-14-3	(二条御屋敷御逗留中御用道具類・御持込御土産品書付)			(幕末カ)			状	1	京都滞在中の御用道具か
145-15-1	(包紙)						包紙	1	145-15-1・145-15-2の包紙、包紙上書「大太守様 御書入」、大太守様は蜂須賀齊裕のこと
145-15-2	(包紙)						包紙	1	145-15-3の包紙
145-15-3	(祝ニ付書状)			(幕末)	なりひろ	愛君□□	状	1	蜂須賀齊裕の書状

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
145-16	(銅像除幕式侯爵閣下御臨席願度旨書簡)			大正2年2月26日	一坂俊太郎ほか7名	萩原弘殿	状	1	前欠
145-17	浄徳院様上申案(松下清峯御雇入二付)						状	1	
145-18	(松下清峯御雇入二付書付案)				(浄徳院)		状	1	
145-19	積金定期預調						状	1	包紙とも、包紙上書「乾義衛様」、裏書「第八十九国立銀行支店 板岡拜」、「蜂須賀」罨紙使用
145-20	世襲財産親属会議員願(案文)			明治32年	正五位男爵 稲田邦植	宮内大臣子爵 田中光顕殿	状	1	「蜂須賀」罨紙使用、冒頭に「明治三十二年六月九日 二葉御調印」と朱筆あり
145-21	世襲財産親属会議員願(案文)			明治32年	正五位男爵 稲田邦植	宮内大臣子爵 田中光顕殿	状	1	「蜂須賀」罨紙使用、冒頭に「明治三十二年六月九日 二葉ニ御調印 財産目録江跡より調整之筈」と朱筆あり
145-22-1	(包紙)						包紙	1	145-22-2～145-22-17の包紙
145-22-2	寄松祝のころを						状	1	包紙とも、包紙上書「杉原にて上つゝミ 奉書ハよろしからず候」
145-22-3	(茶杓・茶碗名二付書付)						状	1	
145-22-4	(御懐紙の御事御尋二付書状)				浅の		状	1	
145-22-5	(天子御忌服其外二付返書)						状	1	包紙とも、包紙上書「愛君御方江書添」
145-22-6	(御洋行御留守中の御機嫌伺状)			(明治) 正月 中旬	むめ沢		状	1	
145-22-7-1	(包紙)						包紙	1	145-22-7-2～145-22-7-6の包紙、包紙上書「御下旬御いとま之節 御両所よりの御返事」
145-22-7-2	(昨日御暇参上二付書状)				新大納言・権中納言	誰にてもの	状	1	145-22-7-3を包んでいた文書
145-22-7-3	(昨日御暇参上二付書状)				新大納言・こむ中納言	たれにてもの	状	1	なか君御方も御障りなき旨記載あり
145-22-7-4	(昨日御暇参上二付書状)				万里小路・むめの小路	たれにてもの	状	1	包紙とも
145-22-7-5	(昨日参上二付書状)				大すけ・長はし	中小路さま	状	1	145-22-7-6を包んでいた文書
145-22-7-6	(昨日御暇参上二付書状)				大すけ・長橋	中小路さま	状	1	
145-22-8-1	(包紙)						包紙	1	145-22-8-2・145-22-8-3の包紙
145-22-8-2	(此度御類焼愛姫様よりの献上御満足二付書状)				大すけ・長はし	中小路さま	状	1	
145-22-8-3	(御拝領御文庫之内覚)						状	1	
145-22-9	堂上逢羽織着用之諸大名之時不及下乗等之礼節						状	1	
145-22-10-1	(包紙)						包紙	1	包紙上書「御大切之御書物」、145-22-10-2～145-22-10-4の包紙

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
145-22-10-2	名所立春（関白にて相国宣下め ずらしきニ付和歌）						状	1	鷹司政通関係か、政通の母は蜂須賀11代重喜の女儀子、14代齊裕の正室標子は政通の7女
145-22-10-3	（多年格別之精勤ニ付宣旨写）						状	1	鷹司政通関係か
145-22-10-4	（関白辞職召留ニ付達写）						状	1	鷹司政通の関白辞職願に対するものか
145-22-11-1	（包紙）						包紙	1	包紙上書「太閤様御宣下ノ節御書付」、145-22-11-2～145-22-11-3の包紙、鷹司政通関係か
145-22-11-2	勅書写（鷹司政通准三后宣下）			安政3年8月 8日			状	1	
145-22-11-3	宣旨写（鷹司政通内覧如旧）			安政3年8月 8日	修理東大寺大仏 長官中務権少輔 主殿頭兼左大史 小槻宿禰輔世奉		状	1	
145-22-12	天瑞院殿祠堂米下賜再興御願			明治24年4月 20日	龍徳寺住職 桑 山租鼎		状	1	包紙とも、包紙上書「天瑞寺書付」、桑山租鼎の名刺あり、天瑞院殿は蜂須賀準人隆喜（3代忠英の第5子）の母
145-22-13-1	（包紙）						包紙	1	包紙上書「院御製之写」、145-22-13-2～145-22-13-4の包紙
145-22-13-2	（鷹司政通七十寿齡を賀す和 歌）			（安政5年）	龍徳寺住職 桑 山租鼎		状	1	
145-22-13-3	関白より杖の歌				（鷹司）政通		状	1	
145-22-13-4	（御手づから杖を賜りし時の和 歌）				楽山		状	1	御製の和歌も記載される
145-22-14	（和歌短冊）				元起		状	1	包紙とも、包紙上書「蜂腰郡御廃葉」
145-22-15	（御召船書付）				（太守様御筆）		状	1	包紙とも、包紙上書「太守様御国にて御召船之名 御筆にて被遊候大事之品」
145-22-16	（装束規式書付）						状	1	
145-22-17	（婚礼ニ付祝儀覚）			（明治）			状	1	蜂須賀正韶・筆子（慶喜4女）の婚礼に関わるものか
145-23	不鳴口上（寺町密宗僧侶願書持 参ニ付書状）						状	1	
145-24-1	（封筒）						封筒	1	封筒上書「蜂須賀公御祭典 御受持御中」、封筒裏書「明治十九年九月一日 興願寺事務受持 英素惇」、145-24-2～145-24-3が入っていた封筒、145-24-1～145-24-5を括っていた紐とも
145-24-2	（瑞雲院殿二百五十年忌法事日 限ニ付書簡）			明治19年9月 1日	興源寺事務受持 英素惇（印）	蜂須賀公御祭典 係 御中	状	1	瑞雲院殿は藩租蜂須賀家政（蓬庵）のこと
145-24-3	（瑞雲院殿法事日限ニ付添書）			（明治19年） 9月1日	英素惇（印）	池田静心斎様	状	1	瑞雲院殿は藩租蜂須賀家政（蓬庵）のこと

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
145-24-4	兼任職御届 (国恩寺無住ニ付瑞光寺住職兼任の旨)			明治19年8月4日	瑞光寺住職 遠山知温 (印) ほか3名		状	1	
145-24-5	死亡御届 (国恩寺住職高根実心死去ニ付)			明治19年8月4日	瑞光寺住職 遠山知温 (印) ほか3名		状	1	
145-25	後院大御庭ノ図						鋪	1	
145-26-1	(包紙)						包紙	1	145-26-2~145-26-3の包紙
145-26-2	(徳川家祥右近衛大将・右馬寮御監宣旨書付写)			天保8年8月5日	大外記兼掃部頭明教中原朝臣師奉		状	1	徳川家祥はのちの13代將軍徳川家定
145-26-3	(徳川家慶源氏長者・左大臣・隨身兵仗宣旨書付写)			天保8年8月5日	大外記兼掃部頭明教中原朝臣師奉		状	1	
145-27	京都より来状之写 (八月二十二日御入内拜見ニ付)			(幕末) 8月24日			小横	1	冒頭に「九月四日着」、文末に「右者櫛笥様へ承候得共不明ニ付尚又承リニ遣候処如此ニ候」とあり
145-28	(襖絵下絵)						鋪	1	
145-29	(門柱・門扉下絵)						鋪	1	
145-30	(御新築設計予算新旧対照表)						状	1	「蜂須賀」罨紙使用
145-31	仮板囲建設願				華族従二位蜂須賀茂韶家令 井上高格	警視第一方面第五分署御中	綴	1	「蜂須賀」罨紙使用、別紙絵図綴り込み
145-32	(包紙)						包紙	1	封筒表面に「図面」、裏面に「緘 六月廿五日 杉浦清次郎」とあり、145-33・145-34の包紙
145-33	(墓石下絵)						鋪	4	
145-34	(廟所下絵)						鋪	1	白金廟所か
145-35	(蜂須賀家新御殿姿図・平面図)						鋪	1	
146	(蜂須賀家新御殿平面龜絵図)			(明治) 34年9月10日			鋪	2	
147	白金御廟所内敷石見積り書			(明治) 44年10月	石工 杉浦清兵衛 (印)	蜂須賀様御役所御中様	綴	1	別紙絵図綴り込み
148	(洗面台下図)			(明治)			鋪	1	
149	(新築下絵図)			(明治)			鋪	1	
150	(新旧御殿対照下絵図)			(明治)			鋪	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
151	(襖絵下絵)			(明治)			鋪	1	
152	(座敷間取絵図)			(明治)			鋪	1	
153	(敷居下絵)			(明治)			鋪	3	
154	蜂須賀家新御殿御新設工程表			明治43年10月25日	小林四郎作 (印)		鋪	1	小林四郎作は土木建築請負及製材業者(スタンプ印より)
155	(御買入地周辺六百分ノ一絵図)			(明治)			鋪	1	
156	(襖絵下絵)			(明治)			鋪	1	彩色、糊はがれあり
157	(麻布網代町蜂須賀家御長屋設計書)				小林四郎作	蜂須賀様御邸御役所御中	綴	1	設計図とも
158	(迅速施行之事件大要)			(明治)	(蜂須賀茂韶)		横	1	表紙に「帰国之上迅速施行之事件唯其大要而已ニ候得共書綴り申候尚一同之公論ヲ乞」とあり、軍制方兵制割・軍制取建・節儉・学問誘導など緊急を要する政策をまとめた書付
159	(家政・軍制其外改革覚)			(明治)	(蜂須賀茂韶)		状	1	城外に屋敷構のこと、家令・家扶・家従人数、暮らし向、家禄・藩禄のことなど書付、紙背あり
160	約條書之事(大阪鉄山負債一件ニ付)			明治9年12月20日	紅露篤親㊦	蜂須賀家御代理林厚德殿・伊吹直亮殿	状	1	裏書あり
161	吾而為王如天朝何(豊臣秀吉征韓ニ関する八文字)				古城山人㊦		鋪	1	包紙とも、豊国祭に関わるものか
162-1	(包紙)						包紙	1	162-2~162-4の包紙、包紙上書「千尋のみとり 歌」
162-2	千尋のみとり 春の部・夏の部(和歌草稿)			(明治)	(蜂須賀隨子)		縦	1	蜂須賀隨子は茂韶の正室、徳川慶篤(水戸)の長女
162-3	ちひろのみとり 秋の部・冬の部(和歌草稿)			(明治)	(蜂須賀隨子)		縦	1	
162-4	ちひろのみとり 雑の部(和歌草稿)			(明治)	(蜂須賀隨子)		縦	1	日露戦争を詠んだ和歌などがある、蜂須賀隨子宛 宮地殿夫ほか2名の書状(明治26年10月1日付)が挟み込まれている
163-1	(歌合書付)				橘堂・珠子		状	1	端裏に付箋あり、付箋上書「此二枚何共御めんとう存乍御前様ニ御認メ願度候」
163-2	(歌合書付綴)				橘堂・珠子		状	1	163-1に挟み込まれていた文書
164	(歌合書付綴)				橘堂・珠子		綴	1	
165	點幾楚飛(和歌連作)				隨子・筆子・鉄子・経子ほか		縦	1	筆子・鉄子・経子は徳川慶喜の娘で姉妹
166	二十七番歌合						縦	1	

蜂須賀家文書 仮目録

番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	形態	点数	備考
167	正風社歌会			明治27年			縦	1	「蜂須賀」罨紙使用、松浦詮・諏訪忠誠・水野忠敬・東久世通禧・前田利嗣・津軽承昭・蜂須賀茂韶・前田利昭の名前あり、「十六番歌結」が綴り込まれる
168	(正風会相催候節之玉詠廻覧ニ付書簡・兼題写)			明治26年4月6日	前田利昭	東久世利禧ほか12名	縦	1	「蜂須賀」罨紙使用
169	十六番歌合			(明治)	近衛忠熙・長岡護美ほか16名		縦	1	判者は鈴木重嶺
170	(漢文白文)				松浦		状	5	包紙とも、包紙上書「無点の書物読始メの試 松浦」とあり
171	生造花御備目録						横	1	
172	(歌合書付綴)				橘堂・珠子ほか		綴	1	
173	(歌合書付綴)				橘堂・珠子ほか		綴	1	
174	(歌合書付綴)				橘堂・珠子ほか		綴	1	
175	(歌合書付綴)				橘堂・珠子ほか		綴	1	
176	(歌合書付綴)				橘堂・珠子		綴	1	綴じ紐からはずれた状態
177	(歌合書付綴)				橘堂・珠子ほか		綴	1	綴じ紐からはずれた状態
178	(俳句書付)				秀麿上		状	1	